

STAR

取扱説明書・部品表

コーンハーベスター

製品コード K38143

型式 MCH2830

ピックアップハーベスター

製品コード K38145

型式 MPH2830

カッティングフレームユニット

製品コード K38153

型式 ACF2830

部品供給型式 ACF2830-02

部品ご注文の際は、必ず部品供給型式をご連絡ください。

“必読” 機械の使用前には必ず読んでください。

スター農機株式会社



安全に作業するために

安全に関する警告について

本機には、印付きの警告ラベルを貼付しています。安全上、特に重要な項目を示しています。警告を守り、安全な作業を行ってください。

警告ラベルについて

▲ 危険

その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性が高いことを示します。

▲ 警告

その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負う可能性があることを示します。

▲ 注意

その警告に従わなかった場合、ケガを負うおそれがあることを示します。

▲ 注意

本機を運転するときには、必ず取扱説明書をよくお読み下さい。
1. 作業に適した、だぶつきのない服装で行って下さい。
2. 酒を飲んだとき、過労ぎみ、病気や妊娠しているときは、作業をしないで下さい。子供には運転させないで下さい。
3. 本機を運転するときは、周囲の安全を確認して下さい。
4. 運転前には、必ず点検や調整をして下さい。
5. 点検や調整をするときは、必ずPTOなどの動力遮断や動力停止（エンジン、電源など）をしてから行って下さい。
6. 点検・調整で取り外したカバー類は、必ず元通りに取り付けて下さい。
7. 他人に本機を貸すときは、必ず「取扱説明書」をよく読んでから作業するようすすめて下さい。



部品番号 106164

▲ 警告

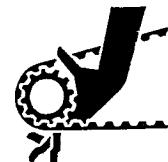


ナイフを研磨する時、ナイフに接触すると、ケガをする事があります。

ナイフの研磨手順に従って行って下さい。

部品番号 106480

▲ 注意



運転中又は回転中、カバーを開けると回転物に巻き込まれ、ケガをする事があります。

カバーを開けないで下さい。

部品番号 106171

— ラベルが損傷した時は —

警告ラベルは、使用者および周囲の作業者などへ危険を知らせる大事なものです。

ラベルが損傷した時は、すみやかに貼り替えてください。

注文の際には、この図に示す 部品番号 をお知らせください。

安全操作上の注意点

取扱説明書に記載されている注意事項を守らないと、死亡を含む傷害を生じる恐れがあります。

作業前には、トラクタの取扱説明書並びに本取扱説明書及びコーンハーベスターとしてご使用の場合、ドッキングフレーム・ロークロップアタッチメント・コーン引き起こしアタッチメント（オプション）の取扱説明書を、ピックアップハーベスターとしてご使用の場合はドッキングフレーム・ピックアップアタッチメントの取扱説明書をよくお読みになり、十分に理解をしてからご使用ください。

作業前に

取扱説明書は製品に近接して保存を

▲注意

- 機械の取り扱いで分からぬ事があった時、取扱説明書を製品に近接して保存していないため、自分の判断だけで対処し、トラブルやケガをする事があります。取扱説明書は、分からぬ事があった時にすぐに取り出せるよう、製品に近接して保存してください。

取扱説明書をよく読んで作業を

▲注意

- 取扱説明書に記載されている安全上の注意事項や取扱要領の不十分な理解のまま作業すると、思わぬ事故を起こす事があります。作業を始める時は、製品に貼付している警告ラベル、取扱説明書に記載されている安全上の注意事項・取扱要領を十分に理解してから行ってください。

こんな時は運転しないでください

▲警告

- 体調が悪い時、機械操作に不慣れな場合などに運転すると、思わぬ事故を起こす事があります。

次の場合は、運転しないでください。

- 過労、病気、薬物の影響、その他の理由により作業に集中できない時。
- 酒を飲んだ時。
- 機械操作が未熟な人。
- 妊娠している時。

服装は作業に適していますか

▲警告

- 作業に適さない服装で機械を操作すると、衣服の一部が機械に巻き込まれ、死亡を含む傷害をまねく事があります。

次に示す服装で作業してください。

- 袖や裾は、だぶつきのないものを着用する。
- ズボンや上着は、だぶつきのないものを着用する。
- 帽子を着用する。
- はちまき、首巻きタオル、腰タオルなどはしない。

機械を他人に貸す時は、

▲警告

- 機械を他人に貸す時、取扱説明書に記載されている安全上の注意事項や取扱要領が分からぬため、思わぬ事故を起こす事があります。

取扱い方法をよく説明し、取扱説明書を渡して使用前にはよく読むように指導してください。

機械の改造禁止

▲注意

- 機械の改造や、当社指定以外のアタッチメント・部品などを取り付けて運転すると、機械の破損や傷害事故をまねく事があります。

機械の改造はしないでください。

アタッチメントは、当社指定製品を使用してください。

部品交換する時は、当社が指定するものを使用してください。

始業点検の励行

▲注意

- 始業点検を怠ると、機械の破損や傷害事故をまねく事があります。

作業を始める前には、取扱説明書に基づき点検を行ってください。

エンジン始動・発進する時は

▲警告

- エンジンを始動する時、トラクタの横やステップに立ったまま行うと、緊急事態への対処ができず、運転者はもちろん周囲にいる人がケガをする事があります。

運転席に座り、周囲の安全を確認してから行ってください。

- エンジンを始動する時、主变速レバーを「N」（中立）にして行わないと、変速機が

接続状態になっているため、トラクタが暴走し思わぬ事故を起こす事があります。
主変速レバーを「N」（中立）にして行ってください。

- P T Oを切らないでエンジンを始動すると、急に作業機が駆動され、周囲にいる人がケガをする事があります。
 - 急発進するとトラクタ前輪が浮き上がる事があり、運転者が振り落とされたり、周囲の人を巻き込んだり、思わぬ事故を起こす事があります。
- 周囲の安全を確認し、ゆっくりと発進してください。

作業機を着脱する時は

▲警告

- トラクタの3点リンクに作業機を着脱するためにトラクタを移動させる時、トラクタと作業機の間に人がいると、挟まれてケガをする事があります。
トラクタと作業機の間に人を近づけないでください。

▲注意

- 作業機をトラクタに着脱する時、傾斜地や凹凸地または軟弱地などで行うと、トラクタが不意に動き出し、思わぬ事故を起こす事があります。
平坦で地盤のかたい所で行ってください。
- ハーベスター本体にアタッチメントを取り付ける時、衝突させると本体がバランスを崩し、後方に転倒しケガをすることがあります。
トラクタに本体を連結してからアタッチメントを取り付けてください。
- 装着するトラクタによっては、前輪荷重が軽くなり、操縦が不安定となって、思わぬ事故をまねく事があります。
トラクタヘバンパーウエイトを取り付け、バランスを取ってください。
- バッテリからバッテリケーブルを外すときは（-）側から外し、取り付けるときは（+）側から行ってください。
もし、逆にすると作業中工具がトラクタに接触した時火花が生じ、火災事故の原因になります。

パワージョイントを使用する時は

▲危険

- カバーのないパワージョイントを使用すると、巻き込まれてケガをする事があります。カバーのないパワージョイントは、使用しないでください。
- カバーが損傷したまま使用すると、巻き込

まれてケガをする事があります。
損傷したらすぐに取り替えてください。
使用前には、損傷がないか点検してください。

- トラクタおよび作業機に着脱する時、第三者の不注意により、不意にパワージョイントが回転し、ケガをする事があります。
P T Oを切り、トラクタのエンジンをとめて行ってください。
- カバーのチェーンを取り付けないで使用すると、カバーが回転し、巻き込まれてケガをする事があります。
トラクタ側と作業機側のチェーンを回転しない所に連結してください。

▲注意

- 最伸時の重なりが100mmを下回ると、ジョイントを回転させた時、破損しケガをする事があります。
最縮時の隙間が25mmよりも小さくなると、ジョイントの突き上げが起きることがあり、ジョイントの破損をまねき、ケガをする事があります。
適正な重なり量で使用してください。
- パワージョイントを接続した時、クランプピンが軸の溝に納まっていると、使用中に外れ、ケガをする事があります。
溝に納まっているか、接続部を押し引きして確かめてください。

公道走行時は作業機の装着禁止

▲注意

- トラクタに作業機を装着して公道を走行すると、道路運送車両法に違反します。
トラクタに作業機を装着しての走行はしないでください。

移動走行する時は

▲危険

- 移動走行する時、トラクタのブレーキペダルが左右連結されていないと、片ブレーキになり、トラクタが左右に振られ横転などが起こり、思わぬ事故をまねく事があります。
ほ場での特殊作業以外は、ブレーキペダルは左右連結して使用してください。

▲警告

- トラクタに運転者以外の人を乗せると、トラクタから転落したり、運転操作の妨げになって、緊急事態への対処ができず、同乗者はもちろん、周囲の人および運転者自身がケガをする事があります。
トラクタには、運転者以外の人は乗せないでください。

作業中は

作業する時は

▲警告

- 急制動・急旋回を行うと、運転者が振り落とされたり、周囲の人を巻き込んだり、思わぬ事故を起こす事があります。
急制動・急旋回はしないでください。
- 坂道・凹凸地・急カーブで速度を出しすぎると、転倒あるいは転落事故を起こす事があります。
低速走行してください。
- 旋回する時、作業機が旋回方向とは逆方向にふくられるため、周囲の人に接触しケガをさせたり、対向物・障害物に衝突しケガをする事があります。
周囲の人や対向物・障害物との間に十分な間隔を保って行ってください。
- 側面が傾斜していたり、側溝がある通路で路肩を走行すると転落事故を起こすことがあります。
路肩は走行しないでください。
- 高低差が大きい段差を乗り越えようとするト、ラクタが転倒あるいは横転し、ケガをする事があります。
あゆみ板を使用してください。
- 作業機の上に人を乗せると、転落し、ケガをする事があります。
また、物を載せて走行すると、落下し、周囲の人へケガを負わせる事があります。作業機の上には、人や物などはのせないでください。
- 作業機を折りたたまざに移動走行すると、障害物などにぶつかりケガをする事があります。
折りたたんで、移動させてください。

▲注意

- 本作業機はトレッドが狭いため旋回時、凹凸地・傾斜地の走行時、転倒してケガをする事があります。
低速走行してください。
- 作業機への動力を切らないで走行すると、周囲の人を回転物に巻き込み、ケガを負わせる事があります。
移動走行する時は、PTOを切ってください。

作業する時は

▲警告

- 作業をする時、周囲に人を近づけると、機械に巻き込まれ、ケガをする事があります。周囲に人を近づけないでください。
- 作業機指定のPTO回転速度を超えて作業すると、機械の破損により、ケガをする事があります。
指定回転速度を守ってください。
- 作業機の上に人を乗せると、転落し、ケガをする事があります。
また、物を載せて作業すると、落下し、周囲の人へケガを負わせる事があります。作業機の上には、人や物などはのせないでください。
- 傾斜地で速度を出しすぎると、暴走事故をまねく事があります。
低速で作業してください。
下り作業をする時、坂の途中で変速すると、暴走する原因となります。
坂の前で低速に変速して、ゆっくりとおりてください。
- わき見運転をすると、周囲の障害物の回避や、周囲の人への危険回避などができず、思わぬ事故を起こす事があります。
前方や周囲へ、十分に注意を払いながら運転してください。
- 手放し運転をすると、思わぬ方向へ暴走し、事故を起こす事がありますしっかりとハンドルを握って運転してください。

▲注意

- 機械の調整や、付着物の除去などを行う時、PTOおよびエンジンをとめずに作業すると、第三者の不注意により、不意に作業機が駆動され、思わぬ事故を起こす事があります。
PTOを切り、エンジンをとめ、回転部や可動部がとまっていることを確めて行ってください。

トラクタから離れる時は

▲警告

- トラクタから離れる時、傾斜地や凹凸地などに駐車すると、トラクタが暴走して思わぬ事故を起こす事があります。
平坦で安定した場所に駐車し、トラクタのエンジンをとめ、駐車ブレーキをかけて暴走を防いでください。
- トラクタから離れる時、作業機をあげたままにしておくと、第三者の不注意により不

意に降下し、ケガをする事があります。
下限まで降ろしてからトラクタを離れてください。

作業が終わったら

機体を清掃する時は

▲注意

- 動力を切らずに、回転部・可動部の付着物の除去作業などを行うと、機械に巻き込まれてケガをする事があります。
PTOを切り、エンジンをとめ、回転部や可動部がとまっている事を確かめて行ってください。

終業点検の励行

▲注意

- 作業後の点検を怠ると、機械の調整不良や破損などが放置され、次の作業時にトラブルを起こしたり、ケガをする事があります。作業が終わったら、取扱説明書に基づき点検を行ってください。
- 3点リンクで作業機を持ち上げて点検・調整を行う時、第三者の不注意により、不意に降下し、ケガをする事があります。
トラクタ3点リンクの油圧回路をロックして行ってください。

不調処置・点検・整備をする時

▲警告

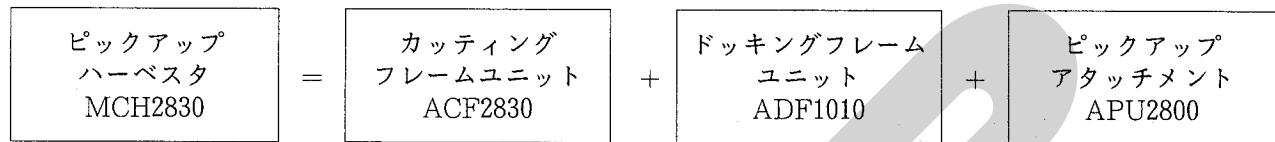
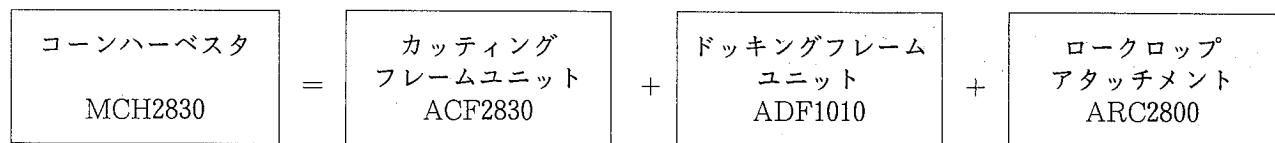
- ナイフを研磨する時、ナイフに接触するとケガをする事があります。
ナイフの研磨手順に従って行ってください。

▲注意

- ナイフを調整する時不意にフライホイールが回転し取り付けられたナイフでケガをすることがあります。
フライホイールの回り止めを確実に行い、作業してください。
- ナイフを研磨する時目に飛散物が入りケガをする事があります。
保護メガネを着用してください。
- 機械に異常が生じた時、そのまま放置すると、破損やケガをする事があります。
取扱説明書に基づき行ってください。
- 傾斜地や凹凸地または軟弱地などで行うと、トラクタや作業機が不意に動き出して、思わぬケガをする事があります。
平坦で地盤のかたい所で行ってください。
- PTOおよびエンジンをとめずに作業すると、第三者の不注意により、不意に作業機が駆動され、思わぬ事故を起こす事があります。
PTOを切り、エンジンをとめ、回転部や可動部がとまっている事を確かめて行ってください。
- 作業機をあげた状態のまま下にもぐったり、足を入れたりすると、不意に降下し、ケガをする事があります。
下に入る時は、台などで降下防止をして行ってください。
- 油圧の継手やホースに、ゆるみや損傷があると、飛び出る高圧オイルあるいは作業機の急な降下で、ケガをする事があります。
補修もしくは部品交換をしてください。
継手やホースを外す時は、油圧回路内の圧力を無くしてから行ってください。
- 不調処置・点検・整備のために外したカバー類を取り付けずに作業すると、回転部や可動部に巻き込まれ、ケガをする事があります。
元通りに取り付けてください。

ユニットの組み合せについて

お買い上げいただいたコーンハーベスタ、ピックアップハーベスタは以下のユニットの組合せで構成されております。



本取扱説明書・部品表は、カッティングフレームユニット ACF2830の部分について記載しております。他のユニットの取扱説明書・部品表はそれぞれのユニットに付属しております。

尚、コーンハーベスタにはピックアップアタッチメントAPU2800を、ピックアップハーベスタにはロークロップアタッチメントARC2800を、オプションとして用意しております。

もくじ



安全に作業するため

安全に関する警告について	1	作業が終わったら	5
作業前に	2	異常処理・点検・整備の注意点	5
作業中は	4		

1 トラクタへの装着

1 各部の名称とはたらき	9	2. ドッキングフレームと ハーベスター本体の連結	12
2 適応トラクタの範囲	11	3. スイッチボックスの取付・配線	12
3 組立部品	11	5 パワージョイントの装着	13
1. 解梱	11	1. 長さの確認方法	13
2. 組立部品の明細	11	2. 切断方法	14
3. 組立	11	3. 安全カバーの脱着方法	14
4 トラクタへの装着	12	4. パワージョイントの連結	14
1. 3点リンクへの ドッキングフレームの連結	12		

2 運転を始める前の点検

1 運転前の点検	15	2 エンジン始動での点検	15
1. トラクタ各部の点検	15	1. トラクタ油圧系統の点検	15
2. 連結部の点検	15	3 給油箇所一覧表	16
(1) 3点リンクの連結部点検	15		
(2) パワージョイントの点検	15		

3 作業の仕方

1 本製品の使用目的	17	5. スクレーパの調整	19
1 ロークロップアタッチ装着時	17	6. 切断長さの調整	19
2 ピックアップアタッチ装着時	17	7. ナイフと ホートムプレートの隙間調整	19
2 作業要領	17	8. 機体姿勢の調整	19
3 各部の調整	17	4 運搬	19
1. ナイフの研磨	17	1. 本体の取り外し	20
2. シャーバーの調整	18	2. シュートの折りたたみ	20
3. ナイフの調整	18		
4. フィールドロール スプリングの調整	19		

4 作業が終わったら

1 作業後の手入れ	21	2 長期格納する時	21
-----------	----	-----------	----

5 点検と整備について

1 点検整備一覧表	22
-----------	----

6 不調時の対応

..... 23

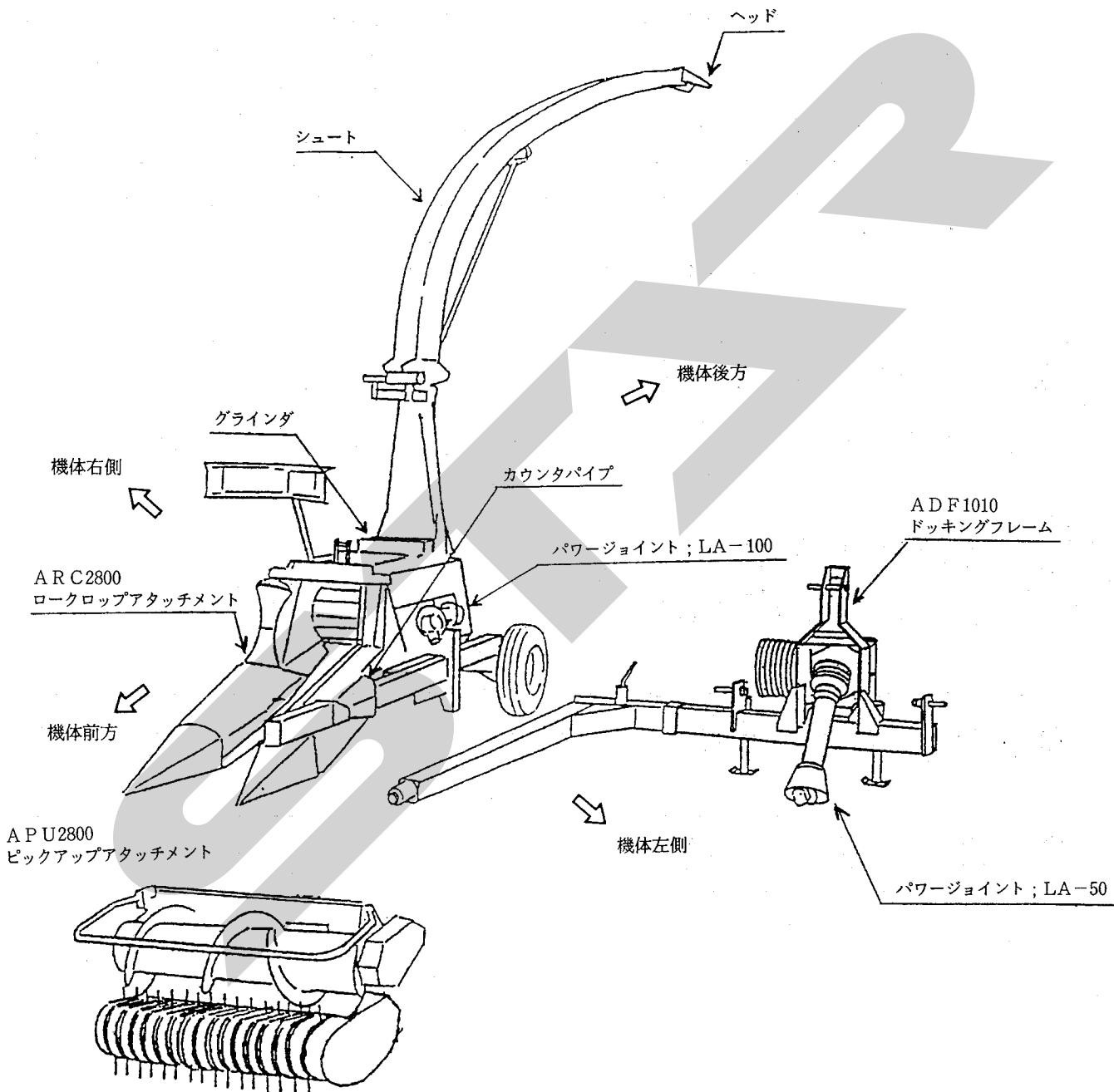
7 部品表

..... 24

2 トラクタへの装着

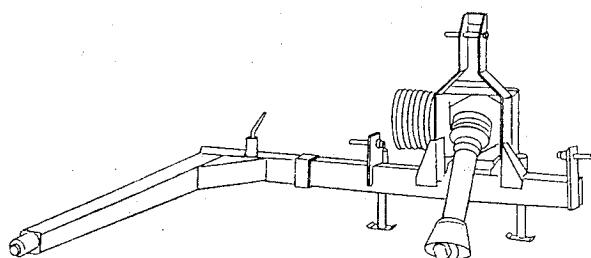
適切な装着で安全な作業をしましょう。

1 各部の名称とはたらき



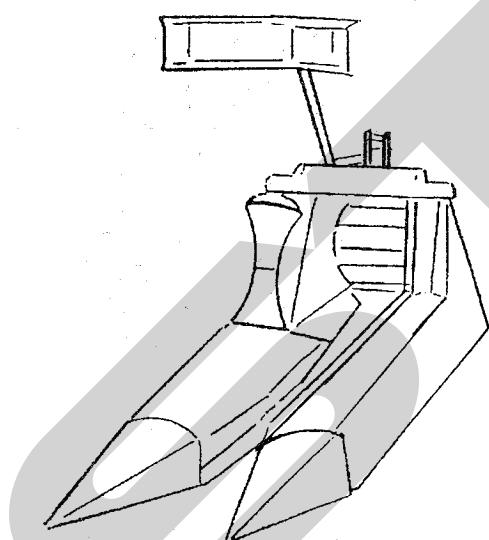
1. ドッキングフレームADF1010

トラクタに装着してハーベスタ本体との連結、動力の供給及び移動に使用します。
取扱についてはADF1010の取扱説明書をご覧ください。



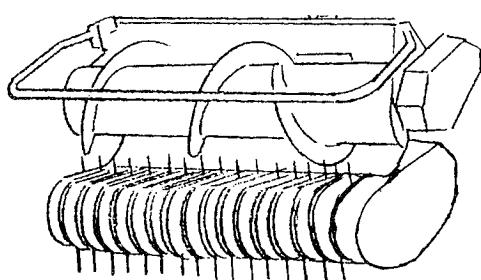
2. ロークロップアタッチメントARC2800

ハーベスタ本体に連結し長程作物の刈り取りに使用します。
取扱についてはARC2800の取扱説明書をご覧ください。



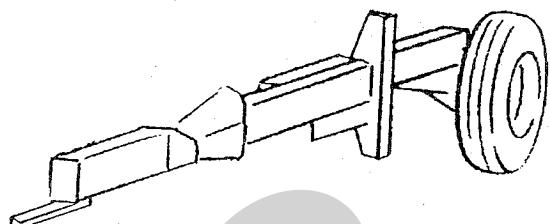
3. ピックアップアタッチメントAPU2800

ハーベスタ本体に連結し牧草の拾い上げに使用します。
取扱についてはAPU2800の取扱説明書をご覧ください。



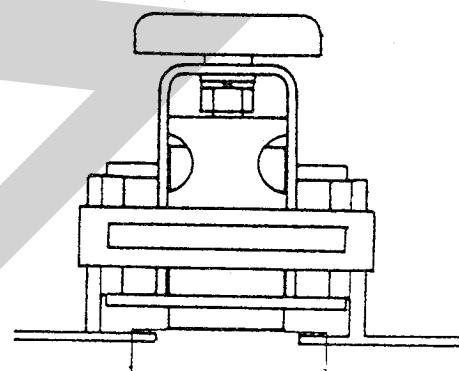
4. カウンタパイプ

ハーベスタ本体とドッキングフレームを連結するため本体側の連結装置です。



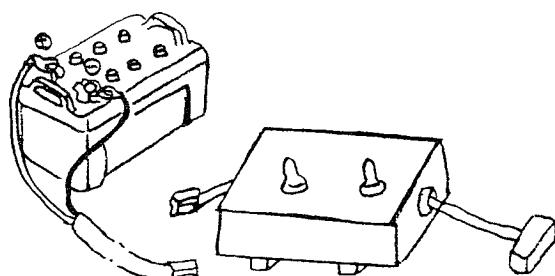
5. グラインダ

ナイフを研磨する装置です。



6. スイッチボックス

トラクタに座ったままシートの回動、ヘッドの上下作動に使用します。



7. パワージョイント：LA-100

ドッキングフレームからハーベスタ本体へ動力を伝達します。

2 適応トラクタの範囲

本製品は適切なトラクタとの装着により的確に性能を發揮できるように設計されています。

不適切なトラクタとの装着によっては、本製品の耐久性に著しく影響を及ぼしたり、トラクタの運転操作に著しい悪影響を及ぼすことがあります。

この製品は適応トラクタ馬力は次のとおりです。

適応トラクタ馬力	
コーンハーベスター MCH2830	30~80PS
ピックアップハーベスター MPH2830	35~80PS

本製品の適応馬力より小さなトラクタで使用すると、負荷に対し十分なパワーがないことがあります。

逆に、適応馬力よりも大きなトラクタでのご使用時には、過負荷に対し機体の適正値を越えたパワーがでてしまい、作業機の破損の原因になることがあります。

3 組立部品

1. 解 構

木枠に固定している部品をほどいてください。

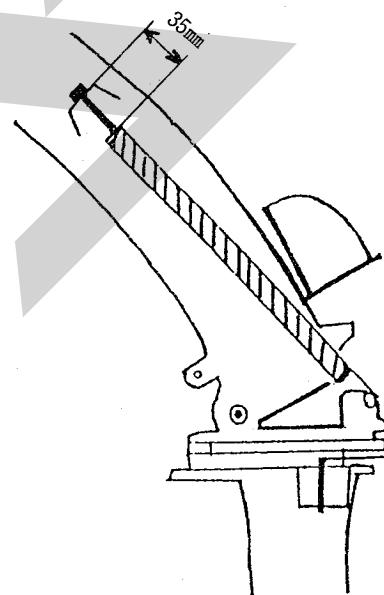
2. 組立部品の明細

梱包に同梱されている梱包明細に基づき、必要部品が揃っているか確認してください。

3. 組 立

各部品の組立に必要なボルト、ナット類は、梱包明細の符号を参照してください。

- (1) タイヤ、カウンタパイプを取り付ける。
- (2) ダクトを本体に取り付ける。
- (3) ダクトにシートを取り付ける。
- (4) シート折りたたみのスプリングを取り付ける。長さ調整は図示寸法を参考に操作力を確かめながら行なってください。



- (5) その他の部品は部品表を参考に取り付けてください。

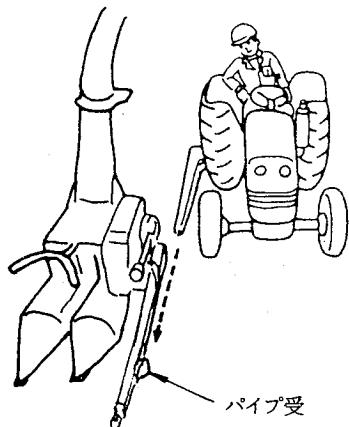
4 トラクタへの装着

1. 3点リンクへのドッキングフレームの連結

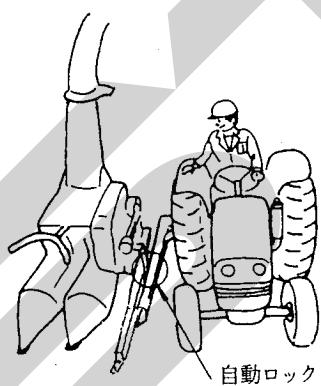
A D F 1010の取扱説明書をご覧になり連結してください。

2. ドッキングフレームとハーベスター本体の連結

- (1) 本体後方より接近し前進しながらコネクタパイプ受にコネクタパイプ先端を差し込みます。



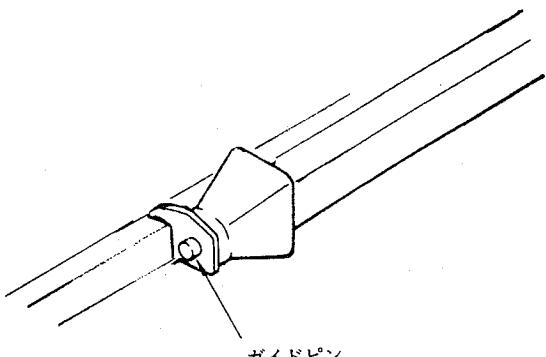
- (2) コネクタパイプ先端が差し込まれたら油圧で本体を持ち上げ、さらに前進すると自動ロックにより本体とドッキングフレームが固定されます。



取扱い上の注意

ガイドピンがコネクタパイプ受前部からでいることを確認してください。(約30mm)

ガイドピンは作業中、本体の脱落を防止するものです。(ガイドピンが出ない時は「6-1 不調処置一覧表」で確認してください)



- (3) 本体P I C軸のパワージョイントを、ドッキングフレームのギヤケースのP T O軸と連結し安全カバーの回り止めをしてください。

3. スイッチボックスの取付・配線（シート・ヘッドのリモコン操作）

- (1) コード；1（電源コード）をバッテリーターミナルへの取付ます。

コード；1（電源コード）のターミナルはトラクタのバッテリーのターミナルを止めているボルトと共に締めにしますので、バッテリーターミナルから（-）、（+）共にコードを外してください。（コードを外すときは（-）側から外してください。）

トラクタのバッテリーコードのナットを外しコード；1（電源コード）のターミナルを取り付けナットを締め付けます。（バッテリーターミナルへ取り付けるときは（+）側から取り付けてください。）

コードの極性は、白色が（+）、黒色が（-）です。

▲ 注意

バッテリーからバッテリーケーブルを外すときは（-）側から外し、取り付けるときは（+）側から行ってください。

逆にすると作業中工具がトラクタに接触した場合、火花が生じ、火災事故の原因になります。

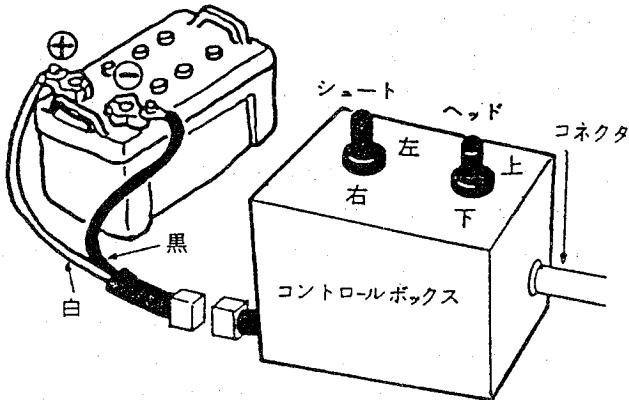
取扱い上の注意

コード；1（電源コード）をバッテリーターミナルへ取り付ける時の誤作動を防ぐためスイッチボックスに取り付けずコード単体で行ってください。

- (2) スイッチボックスをトラクタの操作し易い場所にとりつけてください。

スイッチボックスの取付は、磁石で行うので、できるだけ平らな面にとりつけてください。

- (3) コード；1のソケットとスイッチボックスのソケットを接続してください。
- (4) 本体側のヘッド・シート用コードのソケットとスイッチボックスのソケットを接続してください。
- (5) 取り付け終了後は、各スイッチが表示通りの作動をするか確認してください。



取り扱い上の注意

アタッチメントの取り付けは、それぞれの取扱説明書をお読みください。

5 パワージョイントの装着

▲ 危険

- カバーのないパワージョイントを使用すると、巻き込まれてケガをする事があります。カバーのないパワージョイントは、使用しないでください。
- カバーが損傷したまま使用すると、巻き込まれてケガをする事があります。損傷したらすぐに取り替えてください。使用前には、損傷がないか点検してください。
- トラクタおよび作業機に着脱する時、第三者の不注意により、不意にパワージョイントが回転し、ケガをする事があります。PTOを切り、トラクタのエンジンとめて行ってください。
- カバーのチェーンを取り付けないで使用すると、カバーが回転し、巻き込まれてケガをする事があります。トラクタ側と作業機側のチェーンを回転しない所に連結してください。

▲ 注意

最伸時の重なりが100mmを下回ると、ジョイントを回転させた時、破損しケガをする事があります。

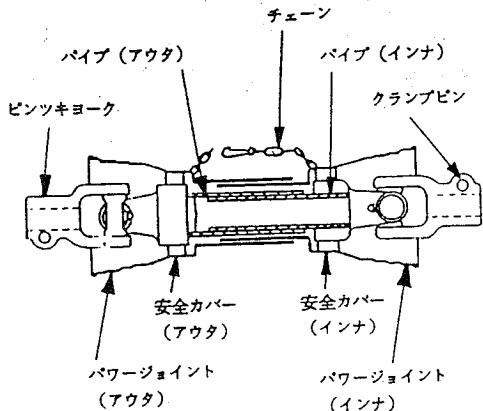
最縮時の隙間が25mmよりも小さくなると、ジョイントの突き上げが起きることがあり、ジョイントの破損をまねき、ケガをする事があります。

適正な重なり量で使用してください。

1. 長さの確認方法

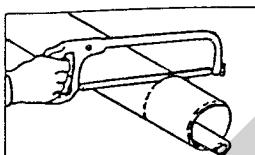
- (1) パワージョイント単体で、最縮長時の安全カバー（アウタ）端部位置を安全カバー（インナ）にマーキングしてください。
- (2) パワージョイント（アウタ）から、パワージョイント（インナ）を引き抜いてください。
- (3) 3点リンクを昇降させて、PTO軸とP.I.C軸が最も接近する位置で、昇降を停止してください。
- (4) ピン付きヨークのクランプピンを押して、PTO軸、P.I.C軸に連結し、クランプピンがもとの位置に出るまで押し込んでください。
- (5) 安全カバー同士を重ね合わせた時、安全カバー（アウタ）端部位置とマーキング位置の間隔が25mm以下の場合は、25mmの間隔を保つように切断方法の手順に従って切断してください。

- (6) 3点リンクを昇降させて、PTO軸とP.I.C軸が最も離れる位置で、昇降を停止してください。
- (7) 安全カバー同士を重ね合わせた時、パイプ(アウタ)とパイプ(インナ)の重なり量が100mm以下の場合は、販売店に連絡し、長いパワージョイントと交換してください。

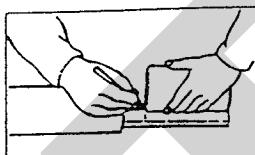


2. 切断方法

- (1) 安全カバーをアウタ・インナの両方を長い分だけ切り取ります。

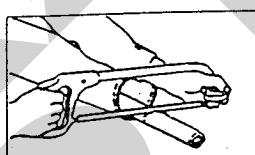


- (2) 切り取った同じ長さをパイプの先端から計ります。



- (3) パイプのアウタ・インナ両方を金ノコまたはカッターで切断します。

切断する時は、パイプの中にウエスを詰め、パイプ内面に切り粉が付着するのを防いでください。

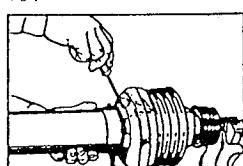


- (4) 切り口をヤスリなどでなめらかに仕上げてからパイプをよく清掃し、次にグリースを塗布して、アウタとインナを組み合わせます。

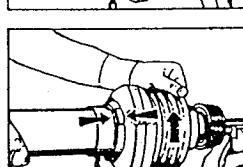
3. 安全カバーの脱着方法

- (1) 完全カバーの分解手順

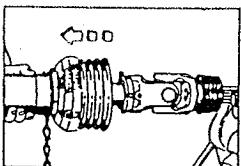
- ① 固定ネジを取り外してください。



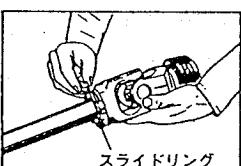
- ② 安全カバーを取りはずし位置へ回してください。



- ③ 安全カバーを引き抜いてください。

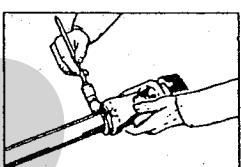


- ④ スライドリングを取り出してください。

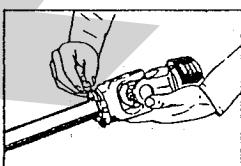


(2) 安全カバーの組立手順

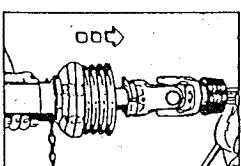
- ① ヨークのスライドリング溝と内側のチューブに高品質グリースを塗ってください。



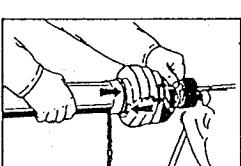
- ② スライドリングのつばをチューブ側に向け、切口を開いて溝にはめてください。



- ③ その上に安全カバーをはめてください。



- ④ カバーをしっかりと止まるまで回してください。



- ⑤ 固定ネジを締め付けてください。

4. パワージョイントの連結

- (1) ピン付きヨークのクランプピンを押して、PTO軸、P.I.C軸に連結し、クランクピンがもとの位置に出るまで押し込んでください。

▲ 注意

- パワージョイントを接続した時、クランプピンが軸の溝に納まっていると、使用中に外れ、ケガをすることがあります。溝に納まっているか、接続部を押し引きして確かめてください。

- (2) 安全カバーのチェーンを固定した所に取り付け、カバーの回転を防いでください。

チェーンは3点リンクの動きに順応できる余裕を持たせ、また他への引っかかりなどがないように余分なたるみを取ってください。

2 運転を始める前の点検

機械の調子をよく長持ちさせるため、作業前に必ず行いましょう。

1 運転前の点検

1. トラクタ各部の点検

トラクタの取扱説明書にもとづき点検を行ってください。

2. 連結部の点検

(1) 3点リンクの連結点検

- ① ロワーリンクピン・トップリンクピンの
リントピン・ベータピンは、確実に挿入さ
れているか。
- ② チェックチェーンは張られているか。
- ③ 不具合が見つかった時は、AD F1010取
扱説明書の「1-4-1 3点リンクへのドッ
キングフレームの連結」の説明に基づき不
具合を解消してください。

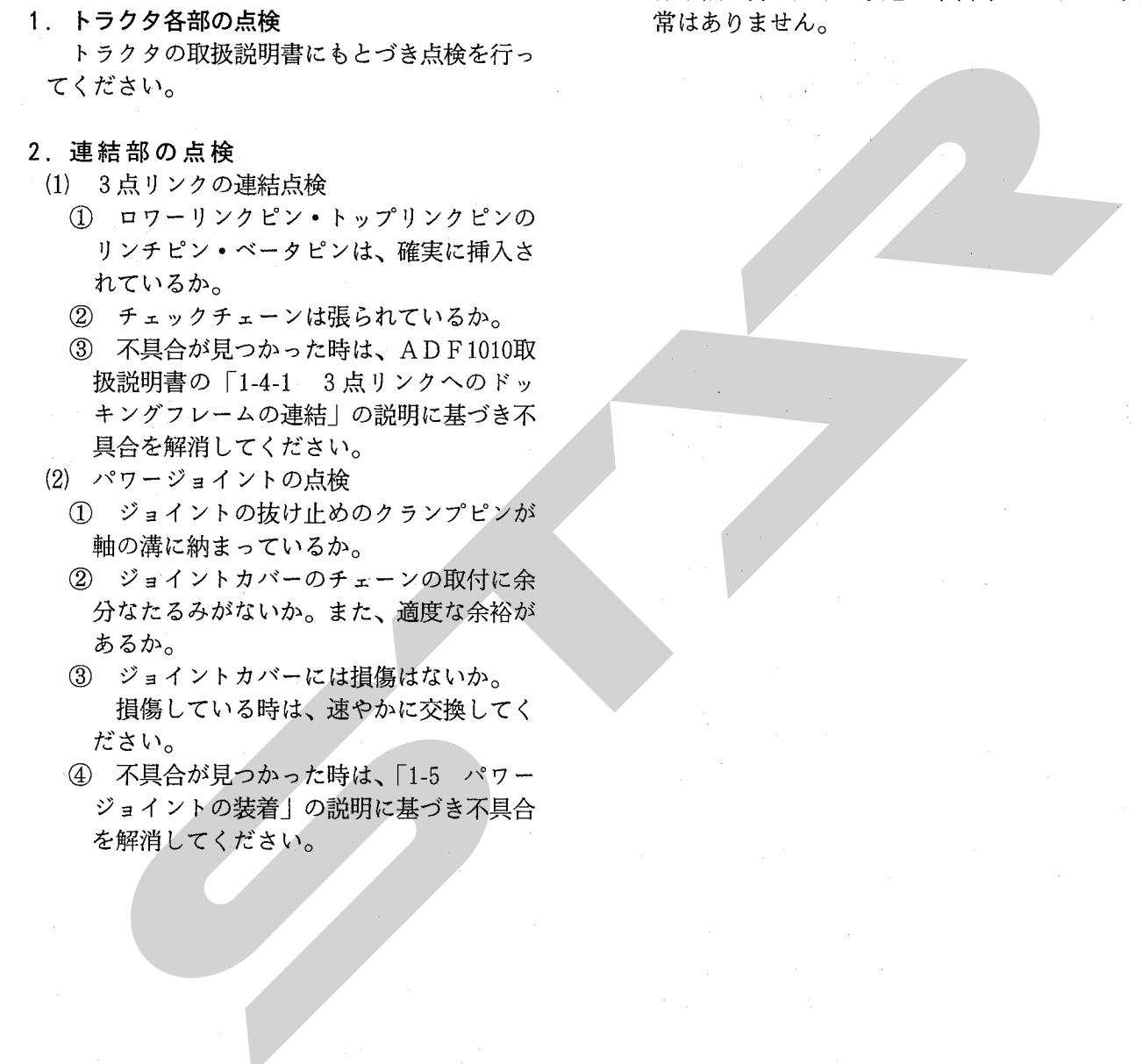
(2) パワージョイントの点検

- ① ジョイントの抜け止めのクランプピンが
軸の溝に納まっているか。
- ② ジョイントカバーのチェーンの取付に余
分なたるみがないか。また、適度な余裕が
あるか。
- ③ ジョイントカバーには損傷はないか。
損傷している時は、速やかに交換してく
ださい。
- ④ 不具合が見つかった時は、「1-5 パワー
ジョイントの装着」の説明に基づき不具合
を解消してください。

2 エンジン始動での点検

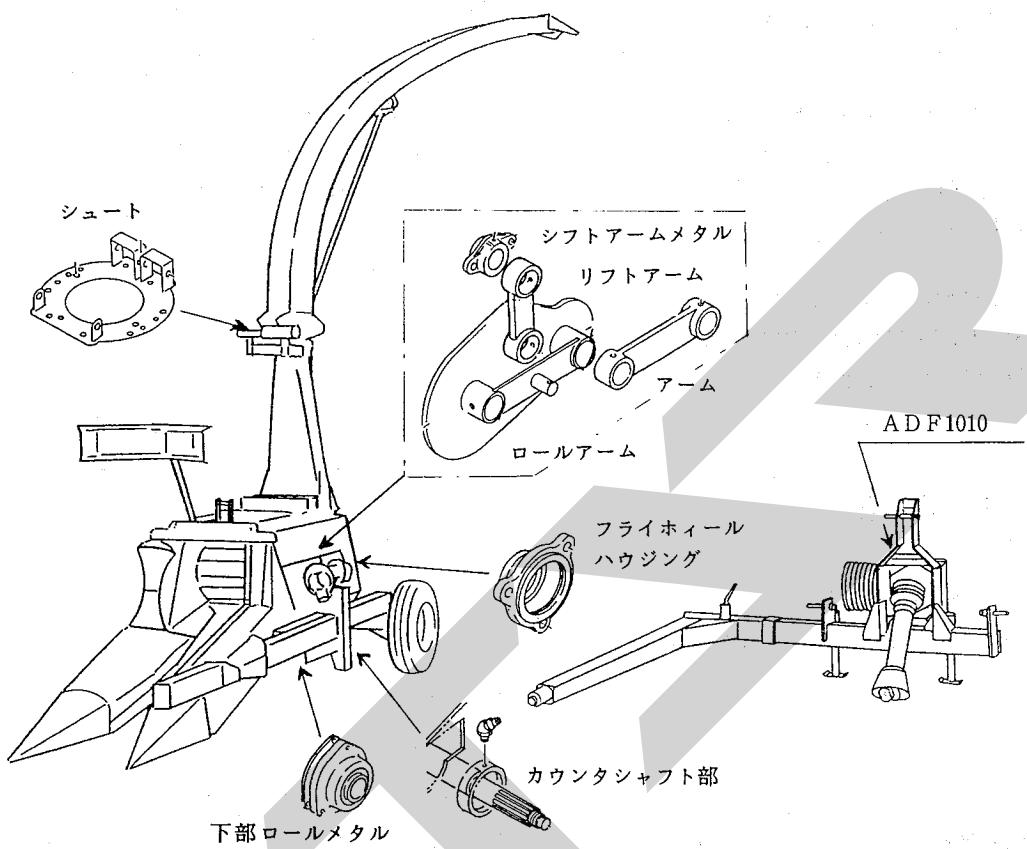
1. トラクタ油圧系統に異常はないか。

トラクタ油圧を操作し、3点リンクを上昇し、
作業機を持ち上げた状態で、降下がなければ異
常はありません。



3 給油箇所一覧表

- 給油、塗布するオイルは清浄なものを使用してください。
- グリースを給脂する場合、適量とは古いグリースが排出され新しいグリースが出るまでです。



No.	給油場所	個所	潤滑油の種類	交換時期	量	備考
1	フライホイールハウジング	2	グリース	使用毎	適量	給脂
2	カウンタシャフト部	2	"	"	"	"
3	下部ロールメタル	4	"	"	"	"
4	ロールアーム	4	"	"	"	"
5	シフトアームメタル	2	"	"	"	"
6	リフトアーム	4	"	"	"	"
7	アーム	4	"	"	"	"
8	シート	5	"	"		グリース塗布
9	ローラーチェーン	5	オイル	"		オイル塗布
10	パワージョイント	—	グリース	"	適量	給脂 グリース塗布

3 作業の仕方

安全を確認して慎重に作業してください。

1 本製品の使用目的

1. ロークロップアタッチ装着時

長穀作物（デントコーン、トウモロコシ、ソルガム）の条播の刈り取りに使用します。
これ以外の目的には使わないでください。

2. ピックアップアタッチ装着時

牧草の拾い上げ・細断に使用します。
これ以外の目的には、使わないでください。

2 作業要領

作業の手順はロークロップアタッチメント、ピックアップアタッチメントそれぞれの取扱説明書を御覧ください。

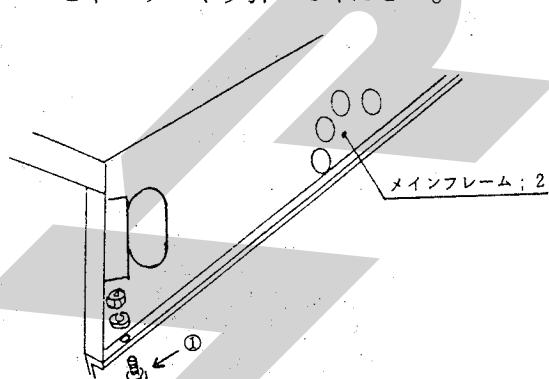
3 各部の調整（快適な作業のために）

《上下フレームの分割方法》

ナイフの調整とプレーンロールとスクレーパの隙間調整は、上フレームを持ち上げておこないます。

以下の手順でフレームを分割してください。

- (1) シュートを真後ろへ向けます。
- (2) 左側の上下に伝動するローラチェーンを外します。
- (3) メインフレーム；2の取付けボルト①を外します。
- (4) フレーム後方のボトムプレートとダクトをとめているボルトをはずします。
- (5) シュートのステーのピンをはずし、ステーを下へゆっくり引いてください。



▲ 注意

- 上下フレームを分割した後、上フレームが不意に下降して挟まれ、ケガをすることがあります。シュートとフレームをロープ等で連結してください。

1. ナイフの研磨

ナイフが摩耗したままで使用すると切断長さの不均一、馬力アップなど性能低下の原因となります。次の手順で研磨してください。

▲ 警告

- ナイフを研磨する時、ナイフに接触するとケガをすることがあります。
ナイフの研磨手順に従って行ってください。

▲ 注意

- ナイフを研磨する時、目に飛散物が入ることがあります。
保護メガネを着用してください。

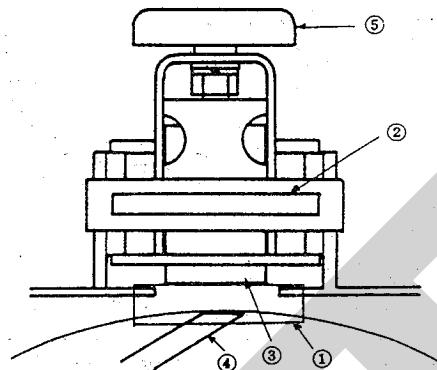
(1) カバー(図①)をはずし、研磨ハンドル(図②)をゆるめ、トイシ(図③)をナイフ(図④)に近づけ、研磨ハンドルを締め付け、トラクタPTOを始動します。

研磨時のPTO回転数は最低速で行なってください。

(2) 研磨ハンドルを左右にスライドさせ1往復ごとにハンドルをゆるめ、キャップスクリュー(図⑤)を45度ずつ手でまわし、トイシを下げていきます。時計と反対方向にまわすとトイシは下がります。

この動作を繰り返すことによりナイフは均一に円筒研磨されます。

(3) 研磨が終わったらトラクタエンジンを停止させ、本体の回転が完全に停止してから、トイシを上げ、カバーを元の位置に入れ、トイシでカバーを動かないようにし、ハンドルをロックしてください。

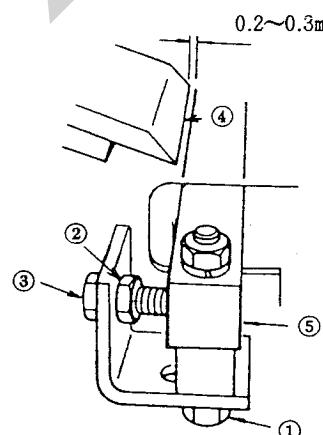


2. シャバーの調整

シャバーの調整はナイフの研磨同様大変重要です。

少ない馬力で均一な切断長を得るためにナイフ研磨ごと、もしくはナイフ研磨2回に1回の割合でシャバーの調整をしてください。

- (1) ボルト①及びロックナット②をゆるめ、ボルト③を締め込みナイフ④に近づけます。
- (2) ナイフとシャバー⑤のスキマが0.2~0.3mmになるように調整します。
- (3) 調整後はボルト①を締め、次にロックナット②を締め付けます。



3. ナイフの調整

ナイフは次の場合再調整します。

○新しいナイフを付ける時

○シャバー(受刃)が調整限度となった時

○ナイフとボトムプレート(下ケーシング)の間隔が大きく吹上力が低下した時

上下フレームの分割方法に従ってフレームを分割します。

▲ 注意

- ナイフを調整する時、不意にフライホイールが回転し、取り付けられたナイフでケガをすることがあります。フライホイールの回り止めを確実に行い、作業してください。

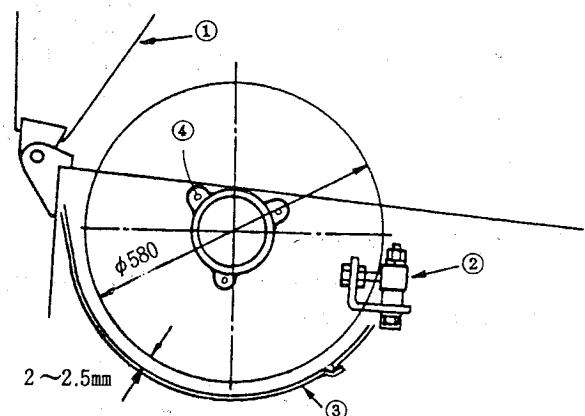
(1) シャバー(図②)をはずし、各部のゴミやサビを取り除きます。

(2) 刃先円直径は580mm(図示)になるようナイフ一枚を取付け、シャバー②を取り付け固定します。

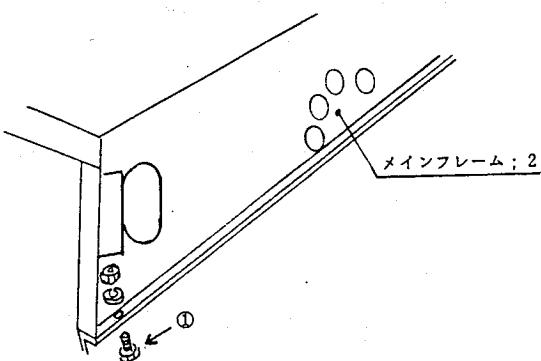
(3) ナイフの取り付けボルトを軽く締込み、シャバーとのスキマが0.2~0.3mmになるようにシャバーを調整します。

(4) この時、ナイフ先端とボトムプレート③のスキマが2~2.5mmあることを確認します。

(5) ナイフの取り付けボルトを完全に締め付けます。(締付トルクは16kg·mです。)



- (6) メインフレーム ; 2をおろし、取り付けボルトで固定します。



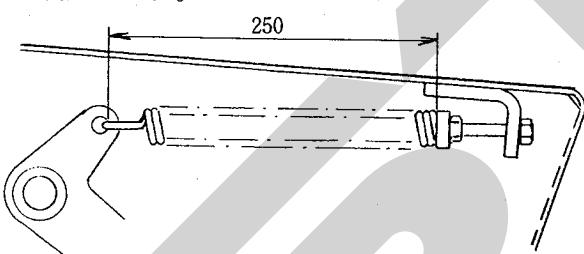
- (7) 全てのナイフが同一円をまわるように研磨してください。(「3-3-1 ナイフの研磨」参照)

取扱い上の注意

ナイフ取付ボルト及びワッシャは特殊品を使用しています。STAR純正品以外は絶対に使用しないでください。

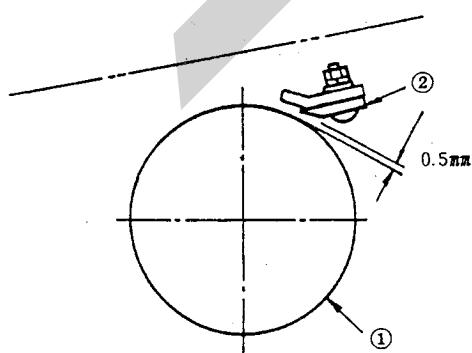
4. フィードロールスプリングの調整

ロールスプリングの張りは250mmになるよう調整します。



5. スクレーパの調整

プレーンロール①とスクレーパ②のスキマは、0.5mm位に調整します。

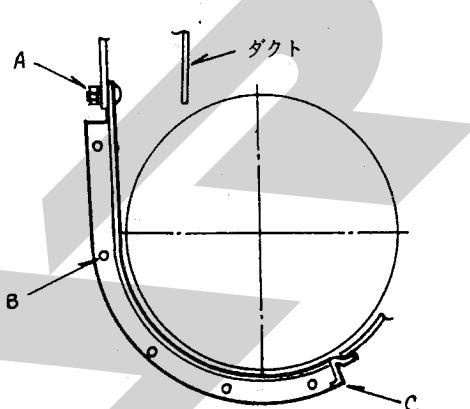


6. ナイフとボトムプレート隙間調整

ナイフを研磨すると、ボトムプレートとナイフ先端の隙間が大きくなり、吹上能力がおちてきます。

その場合には、下記要領でボトムプレートの調整をしてください。

- (1) ダクトとボトムプレートを止めているボルト(A部)は締めたままで、ボトムプレートの側面を止めているボルト(B部)を全て緩めます。
- (2) C部を押しだし、ナイフ先端との隙間を2~2.5mmに調整しボルトを締めてください。



7. 切断長さの調整

ナイフの枚数により調整します。

ナイフ枚数	6枚	3枚	9枚(オプション)
切断長さ	10mm	20mm	7mm

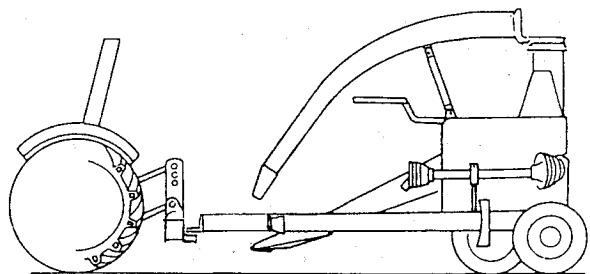
8. 機体姿勢の調整

調整段数は3段階あります。

機体が一番低くなる位置がロークロップでの作業の標準高さです。機体が一番高くなる位置がピックアップアタッチでの作業の標準高さです。ほ場の条件で適時選択してください。

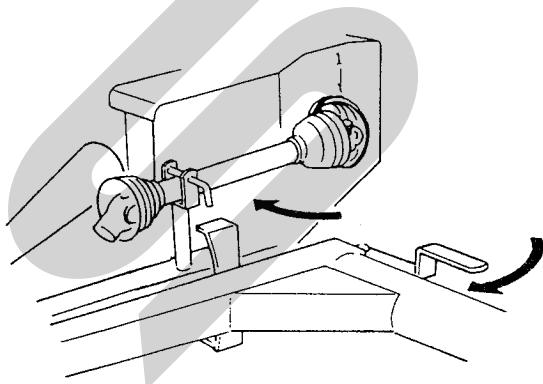
3 運搬

本作業機は機体幅が広い作業機です。移動する時はトラクタ後部にけん引して移動します。



1. 本体の取り外し

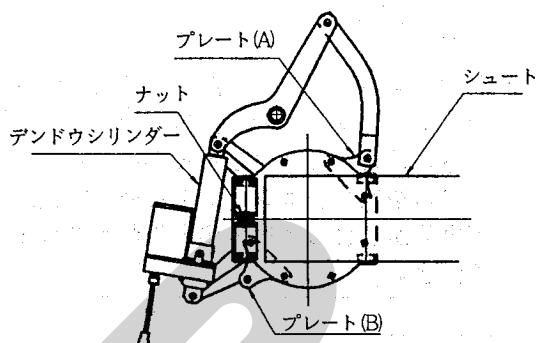
- (1) ハーベスター本体カッタ部のパワージョイントをギヤケースからはずしジョイント受に置きます。
スイッチボックスからソケットをはずしてください。
- (2) トラクタの3点リンクの油圧レバーを下げて油圧をフリーの状態にします。
- (3) コネクタパイプの後部のレバーを矢印の方向にたおすとガイドピンが抜けコネクタパイプが下へはずれます。
- (4) コネクタパイプがカウンタパイプに接触していないか確認しながら静かに前進してください。



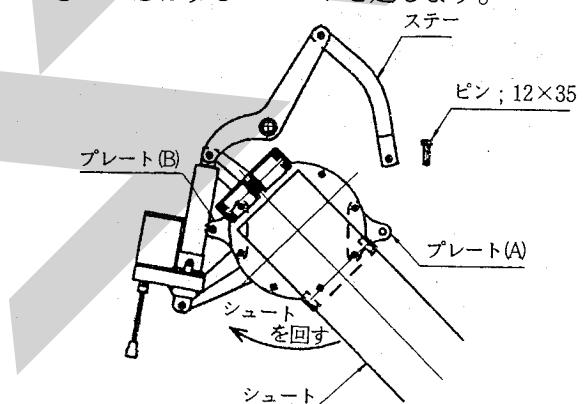
2. シュートの折りたたみ

本作業機は移動時には、シュートを進行方向に折りたたむことができます。

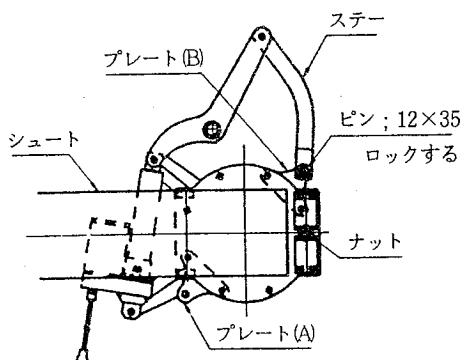
- (1) 作業時のセットのまま電動シリンダを最縮長にします。



- (2) ステーとプレート（A）を止めている頭付きピンをはずしシュートを廻します。



- (3) プレート（B）が（A）位置に来ますのでステーとプレート（B）を頭付きピンで固定します。



- (4) フランジとシュートを止めているナットをはずします。シュートのステーにはずし、ステーをゆっくり引き下げ本体の受けにステーを固定します。

▲ 注意

本作業機はトレッドが狭いため旋回時、凹凸地・傾斜地の走行時、転倒してケガをすることがあります。低速走行してください。

4 作業が終わったら

長持ちさせるために、手入れは必ずしましょう。

▲ 注意

- 動力を切らずに、回転部、可動部に付着したゴミ、草などの除去作業を行うと、機械に巻き込まれてケガをする事があります。PTOを切り、エンジンをとめ、回転部や可動部がとまっている事を確かめて行ってください。

1 作業後の手入れ

1. 機械の上にかかっている牧草等は、ほ場の中できれいに取り除いてください。
特に、回転部に巻き付いた草は、シール部品、軸受部品などを傷つけますので、完全に取り除いてください。
2. ボルト、ナット、ピン類の緩み、脱落がないか。又、破損部品がないか確認してください。
異常があれば、ボルトの増締め、部品の交換をしてください。
3. PTO軸、PIC軸、ジョイントスライド部など塗装されていない露出部は、さびを防ぐためグリースを塗布してください。

2 長期格納する時

1. 機械各部の清掃をしてください。
2. 摩耗した部品、破損した部品は、交換してください。
3. 給油箇所一覧表に基づき、油脂を補給してください。
また、回転、回動支点およびパワージョイントのクランプピンを含む摺動部には注油し、PTO軸、PIC軸、パワージョイントのスライド部にはグリースを塗布してください。
4. 塗装損傷部を補修塗装、または、油を塗布し、さびの発生を防いでください。
5. 格納は風通しの良い屋内に保管してください。

5 点検と整備について

調子よく作業するために、定期的に行いましょう。

機械の整備不良による事故などを未然に防ぐために、「点検整備一覧表」に基づき、各部の点検整備を行い、機械を最良の状態で、安心して作業が行えるようにしてください。

1 点検整備一覧表

▲ 注意

- P T O およびエンジンとめずに作業すると、第三者の不注意により不意に作業機が駆動され、思わぬ事故を起こす事があります。P T O を切り、エンジンをとめ、回転部や可動部がとまっていることを確かめて行ってください。
- 不調処置・点検・整備のために外したカバー類を取り付けず作業すると、回転部や可動部に巻き込まれ、ケガをする事があります。
元通りに取り付けてください。

時 間	チ ケ ッ ク 項 目	処 置
新 品 使用 1 時 間	全ボルト、ナットの緩み	増し締め
使 用 毎 (始業終業点検)	①機械の清掃 ②部品脱落・破損部 ③各部のボルト・ナットの緩み ④各部油もれ ⑤各部の油脂類 ⑥ナイフとシャバーのスキマ ⑦プレーンロールとスクレーパのスキマ ⑧ナイフのスキマ ⑨ナイフ研磨 ⑩タイヤ空気圧	補充、交換 増し締め シールチェック、破損時交換 「2-3 純正部品一覧表」に基づき給油、給脂 異常があれば 「3-3 各部の調整」に基づき チェック
シ ー ズ ン 終 了 後	①各部の破損、摩耗 ②各部の清掃 ③各部の給油、給脂 ④チェーン、回動支点等の摩耗 ⑤塗装損傷部	早めの部品交換 「2-3 純正部品一覧表」に基づき給油、給脂 早めの部品交換 塗装または油塗布

6 不調時の対応

エンジンをとめてから点検してください。

トラブルが発生したら、「不調処置一覧表」に基づき処置してください。

1 不調処置一覧表

症 状	原 因	処 置
シューート・ヘッドが動かない	①バッテリとコントロールBOXの接続不良 ②ヒューズが切断 ③コントロールBOXスイッチ故障	配線をやり直す。白線(+) 黒線(-) ヒューズを交換する。 スイッチを交換する。
切断物の飛びが悪い	①供給物の水分が多い ②回転速度不足	供給物の水分調整をする 適正回転速度にする。
フィードロール食い込みが悪い	①供給量が多い ②ロールスプリングの張り不足	車速を落とす スプリング長さ250mmにする。
切断長さが不均一となる	①ナイフが摩耗 ②ナイフとシャバーの隙間が大きい	ナイフを研磨する。 ナイフを交換する。 ナイフとシャバーの隙間を再調整する。
馬力を喰う	①ナイフが摩耗	ナイフを研磨する。 ナイフを交換する。
ガイドピンが出ない	①解除レバーの締めすぎ ②スプリングが切損している	締め付けボルトを緩める。 スプリングを交換する。

原因や処置のしかたがわからない場合は、下記事項とともに購入先にご相談ください。

1. 製品名
2. 部品供給型式（型式）
3. 製造番号
4. 故障内容（できるだけ詳しく）

7 部品表

部品のご注文について

1. 部品ご注文の際は、下記項目をご連絡ください。

- ① 製品名
- ② 部品供給型式（型式）
- ③ 部品名称（部品表を参照してください）
- ④ 部品番号（　　〃　　）
- ⑤ 個数（　　〃　　）

※部品供給型式は取説・部品表表紙および本体に貼付のネームプレートに表示しています。

2. 部品名称欄に「見付」と表示している部品は、該当見出番号の部品が付属されております。

（例）

見出番号	部品番号	部分名称	個数
1	92602	シャフト	見付
2	ONAS6G	グリースニップル；A-M6×1F	6

このシャフトには、見出番号2のグリースニップルが取り付けられている事を示します。

3. 使用型式により、部品番号や個数が異なる場合は、部品名称欄に注記していますのでご注意ください。

4. ボルト・コネジ・ナット類の部品番号末尾に記載されている英文字は以下のことを表しております。

（例）BZ0815A (G)

(メッキ仕上げ)

A ; ナット・スプリングワッシャ付
D ; ナット2個付
N ; ナット付
P ; ワッシャ付
W ; スプリングワッシャ付

5. 個数欄の□・□は、以下のことを表しております。

□…シムなど、組み込まれている個数が製品個々により異なる部品。

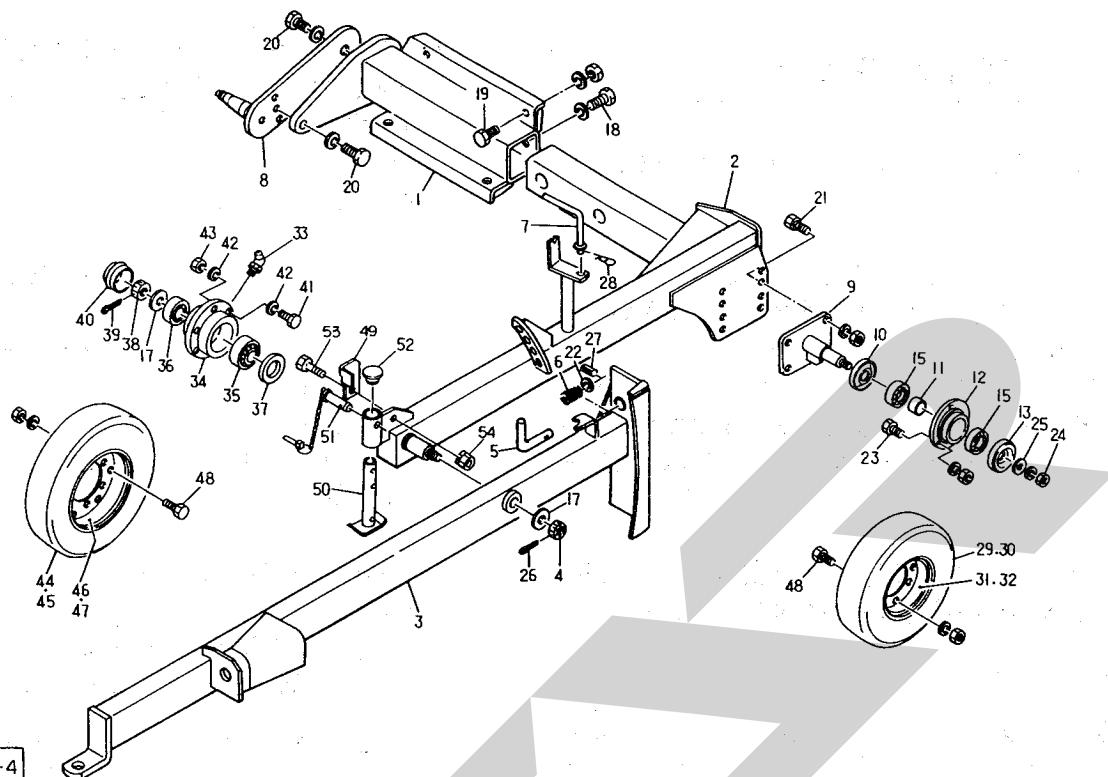
□…アッセイ品に含まれる部品で、単品では供給しない部品。

補修部品の供給年限について

この製品の補修用部品の供給年限（期間）は、製造打ち切り後9年です。ただし、供給年限内であっても、特殊部品については納期などをご相談させていただく場合もあります。

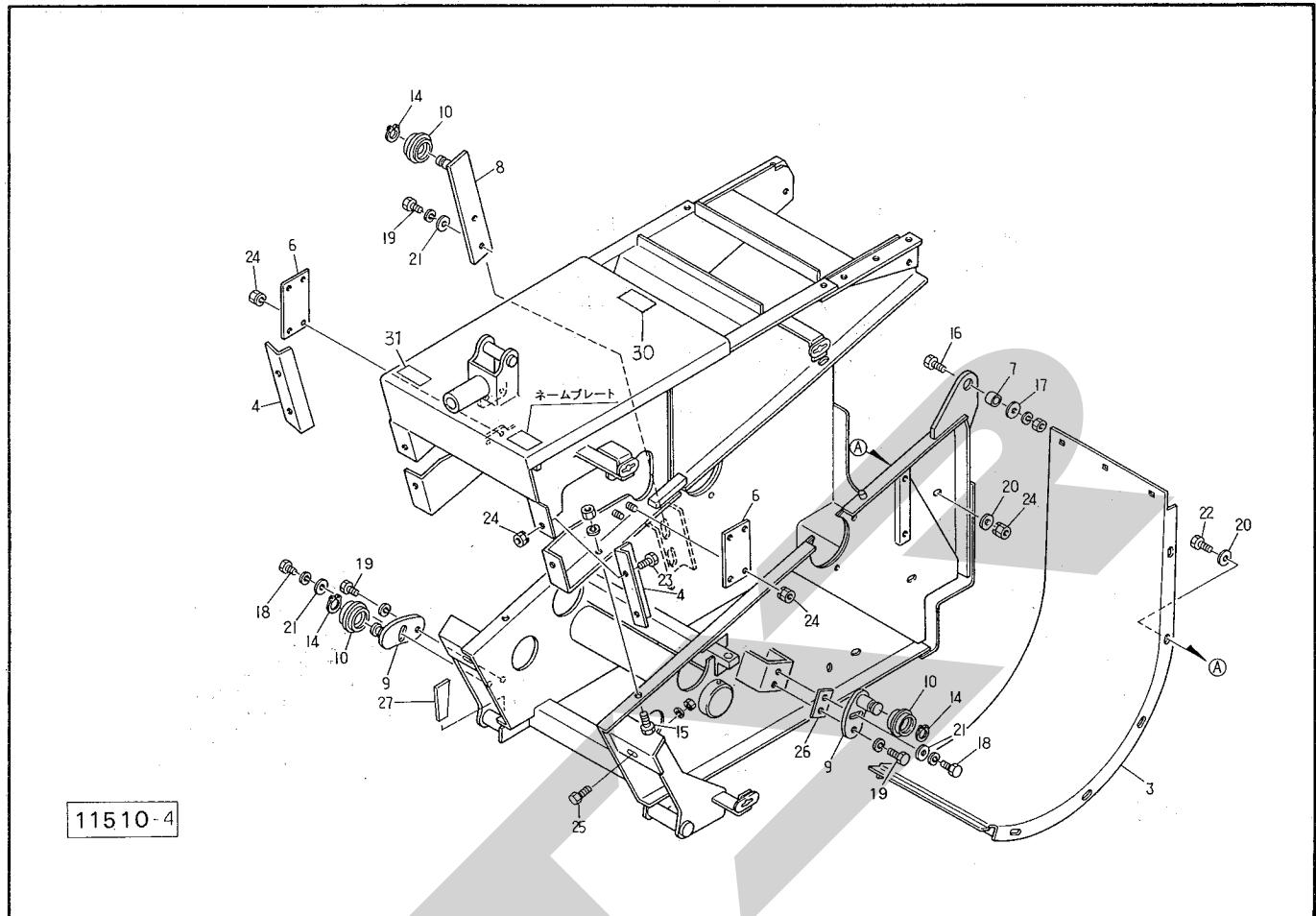
補修用部品の供給は、原則的には上記の供給年限で終了しますが供給年限経過後であっても、部品供給のご要請があった場合には、納期および価格についてご相談させていただきます。

**MCH2830 コーンハーベスター、MPH2830 ピックアップハーベスター
サブフレーム、アクスル、タイヤ**



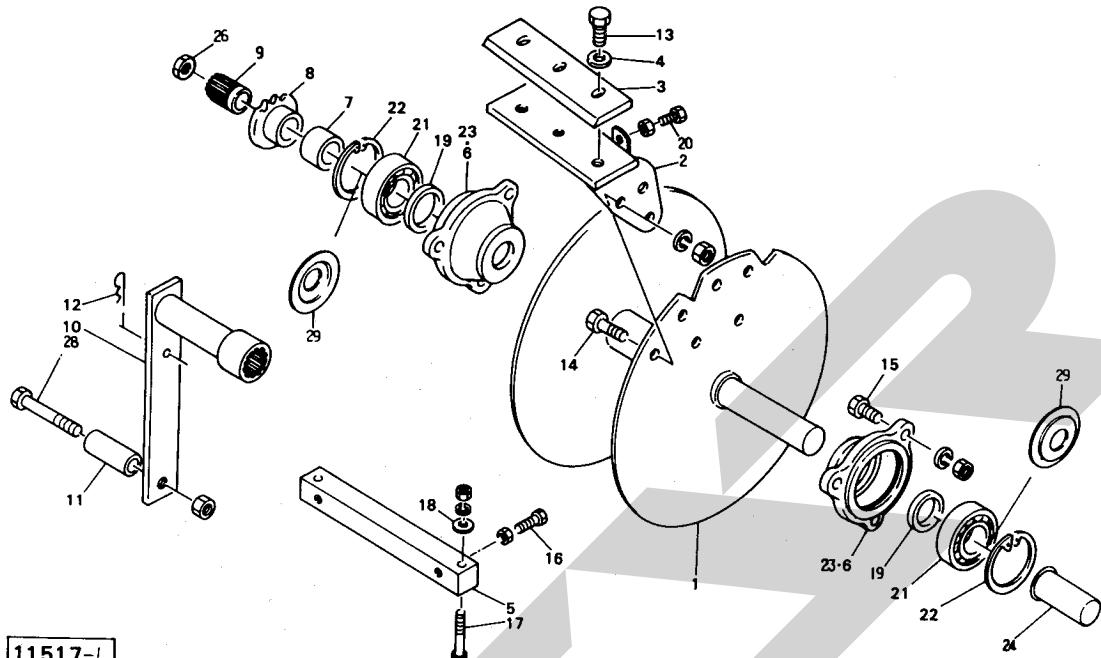
品番	部品番号	部品名称	個数	品番	部品番号	部品名称	個数
1	81165	サブフレーム；1	1	29	57940	タイヤ；5.00-9-8 PR	1
2	81166	サブフレーム；2	1	30	57941	チューブ；5.00-9	1
3	81167	カウンタパイプ	1	31	00448	ホイール；3.50-9 DT ⑩32付	1
4	00712	キャッスルナット；M24×1.5	1	32	00449	ホイール；3.50-9 DT(バルブ穴付)	1
5	57922	レバー	1	33	ONBS1G	グリースニップル；B-PT 1/8	1
6	57897	スプリング	1	34	00406	ハブ；A52×72	1
7	81099	ピン	1	35	J30207	テーパベアリング；30207	1
8	85317	シャジク；1	1	36	J30205	テーパベアリング；30205	1
9	87272	シャジク；2	1	37	00500	シールワッシャ；35×72	1
10	70433	キャップ	1	38	00712	キャッスルナット；M24×1.5	1
11	69467	カラー	1	39	PC4032G	ワリピン；4×32	1
12	00522	ハブ	1	40	00414	キャップ；52	1
13	00764	キャップ	1	41	00421	ボルト；M12×1.5×45	6
15	J6206LLU	ボルベアリング；6206LLU	2	42	WS12G	Sワッシャ；M12	12
17	WRA24G	ワッシャ；M24	2	43	NZ12150G	ナット；M12×1.5	6
18	BZ2045WG	ボルト；M20×45(8.8)	2	44	55529	タイヤ；6.00-9-10 PR	1
19	BZ1645AG	ボルト；M16×45(8.8)	4	45	55530	チューブ；6.00-9	1
20	BZ1635WG	ボルト；M16×35(8.8)	2	46	64906	ホイール；4.00E-9 DT ⑩47付	1
21	BZ1240AG	ボルト；M12×40(8.8)	4	47	64907	ホイール；4.00E-9 DT(バルブ穴付)	1
22	WRA20G	ワッシャ；M20	1	48	BA1225AG	ボルト；M12×25	12
23	BZ1030AG	ボルト；M10×30(8.8)	4	49	96384	アングル	1
24	NZ16WG	ナット；M16(8)	1	50	84267	スタンド	1
25	00761	ワッシャ；16	1	51	34200	ピン	1
26	PC5056G	ワリピン；5×56	1	52	76582	キャップ	1
27	PS6032	スプリングピン；6×32	1	53	BZ0830G	ボルト；M8×30(8.8)	1
28	00085	ベータピン；8×1.6	1	54	NP08G	スプリングナット；M8	1

MCH2830コーンハーベスタ、MPH2830ピックアップハーベスタ
フレーム



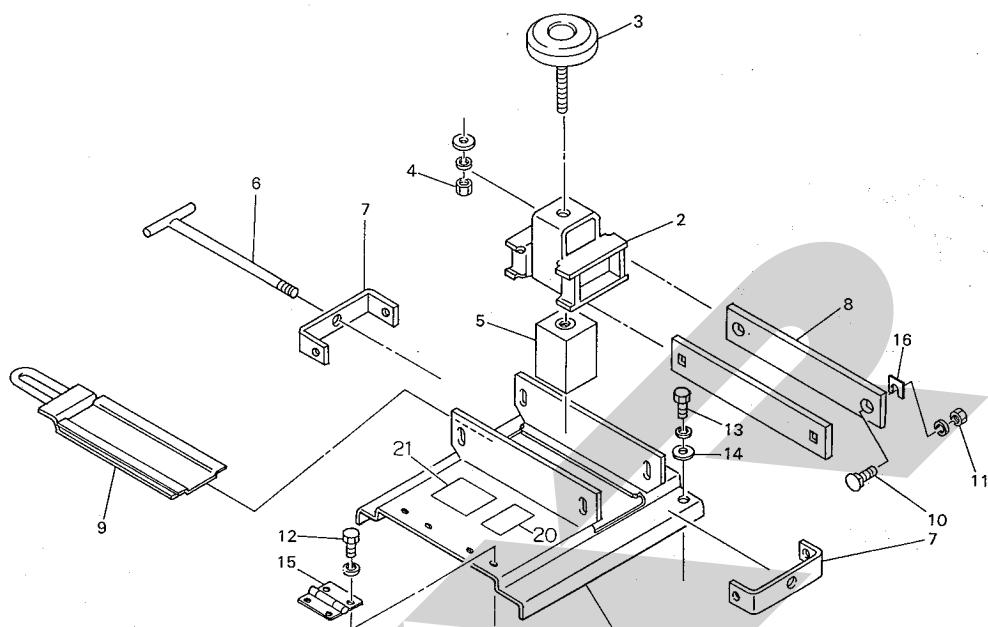
見出番号	部品番号	部品名称	個数	見出番号	部品番号	部品名称	個数
				26	82377	プレート	2
				27	81180	ロックプレート	2
3	81145	ボトムプレート	1				
4	90280	アングル	2				
				30	98250	ウンテンチュウノチュウイマーク	1
6	81148	プレート	2	31	61619	キケンチュウイマーク	1
7	81149	カラー	2				
8	81150	テンションアーム	1				
9	61993	テンションアーム	2				
10	81267	テンションロール	3				
14	DC17	スナップリング；S 17	3				
15	BZ1225AG	ボルト；M 12×25 (8.8)	2				
16	BZ1250AG	ボルト；M 12×50 (8.8)	2				
17	67931	ワッシャ；12	2				
18	BZ1035WG	ボルト；M 10×35 (8.8)	2				
19	BZ1025WG	ボルト；M 10×25 (8.8)	4				
20	44097	ワッシャ；8	20				
21	44098	ワッシャ；10	4				
22	BZ0825G	ボルト；M 8×25 (8.8)	10				
23	BZ0820G	ボルト；M 8×20 (8.8)	4				
24	NP08	スプリングナット；M 8	22				
25	BZ1430AG	ボルト；M 14×30 (8.8)	2				

MCH2830コーンハーベスター、MPH2830ピックアップハーベスター
フライホイール



見出番号	部品番号	部品名称	個数	見出番号	部品番号	部品名称	個数
1	85800	フライホイール	1	26	85801	ロックナット; M20×1	1
2	1246830007	ナイフホルダ	6				
3	81095	ナイフ	6	28	BZ1290NG	ボルト; M12×90(8.8)	1
4	81029	ハイテンションワッシャ; 14	18	29	81098	シールキャップ	2
5	81096	シャバー	1				
6	92119	ハウジング	2				
7	81101	カラー	1				
8	81100	スプロケット; 14T	1				
9	85003	アダプタ	1				
10	62494	ハンドル	1				
11	24118	クリップ	1				
12	00087	ベータピン; 16×2.3	1				
13	BZT141530G	ボルト; M14×1.5×30(10.9)	18				
14	BZT1435AG	ボルト; M14×35(10.9)	36				
15	BZ1440AG	ボルト; M14×40(8.8)	6				
16	BZA1250NG	ボルト; M12×50全ねじ(8.8)	2				
17	BZ1270AG	ボルト; M12×70(8.8)	2				
18	72013	ハイテンワッシャ; M12	2				
19	D40558	オイルシール; D40558	2				
20	BC0835NG	ボルト; M8×35全ねじ(ステンレス)	12				
21	J6307LLU	ボールベアリング; 6307LLU	2				
22	DHC80	スナップリング; H80	2				
23	ONBS6	グリースニップル; B-M6×1F	2				
24	00096	PICキャップ	1				

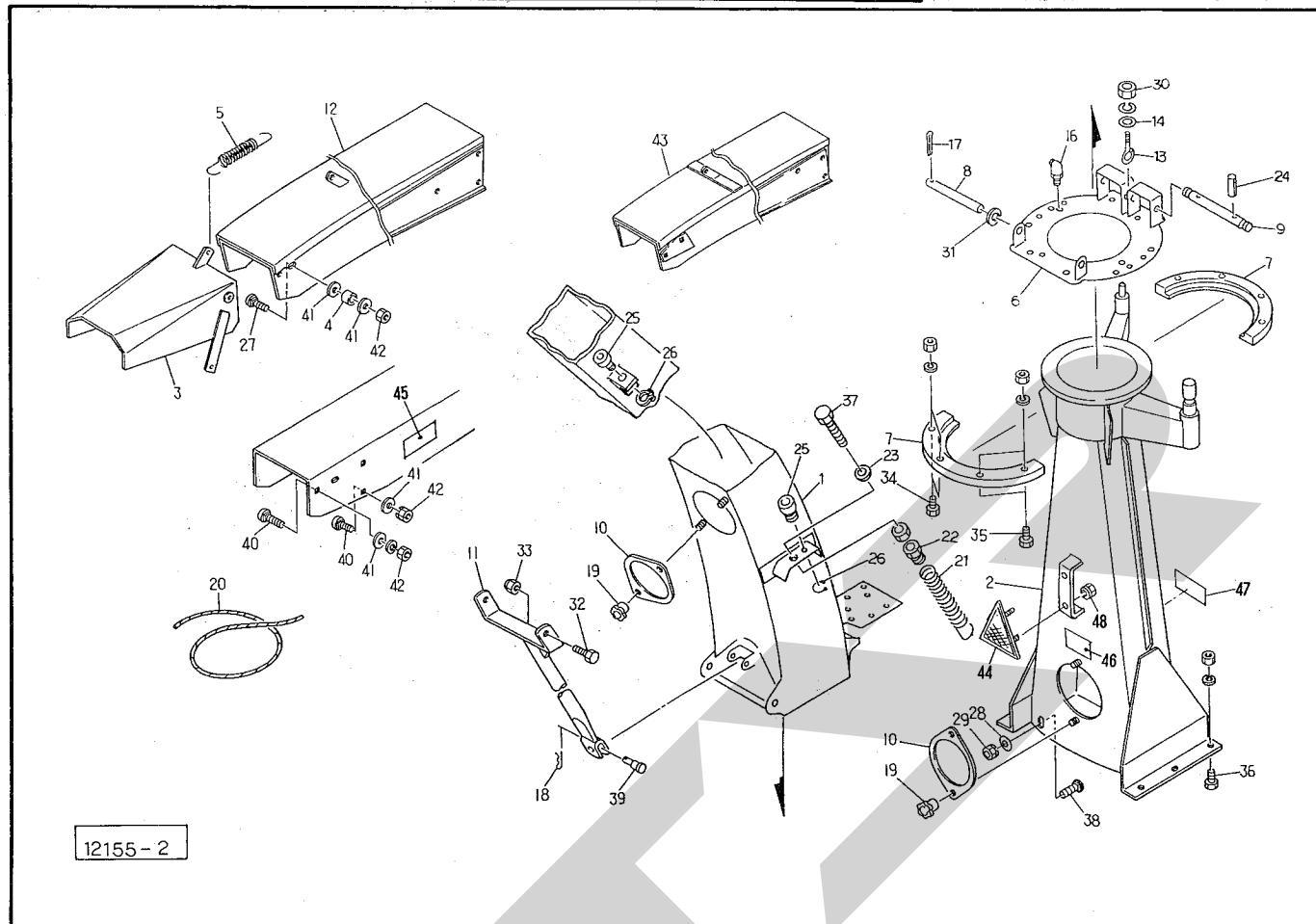
MCH2830コーンハーベスタ、MPH2830ピックアップハーベスタ
グラインダ



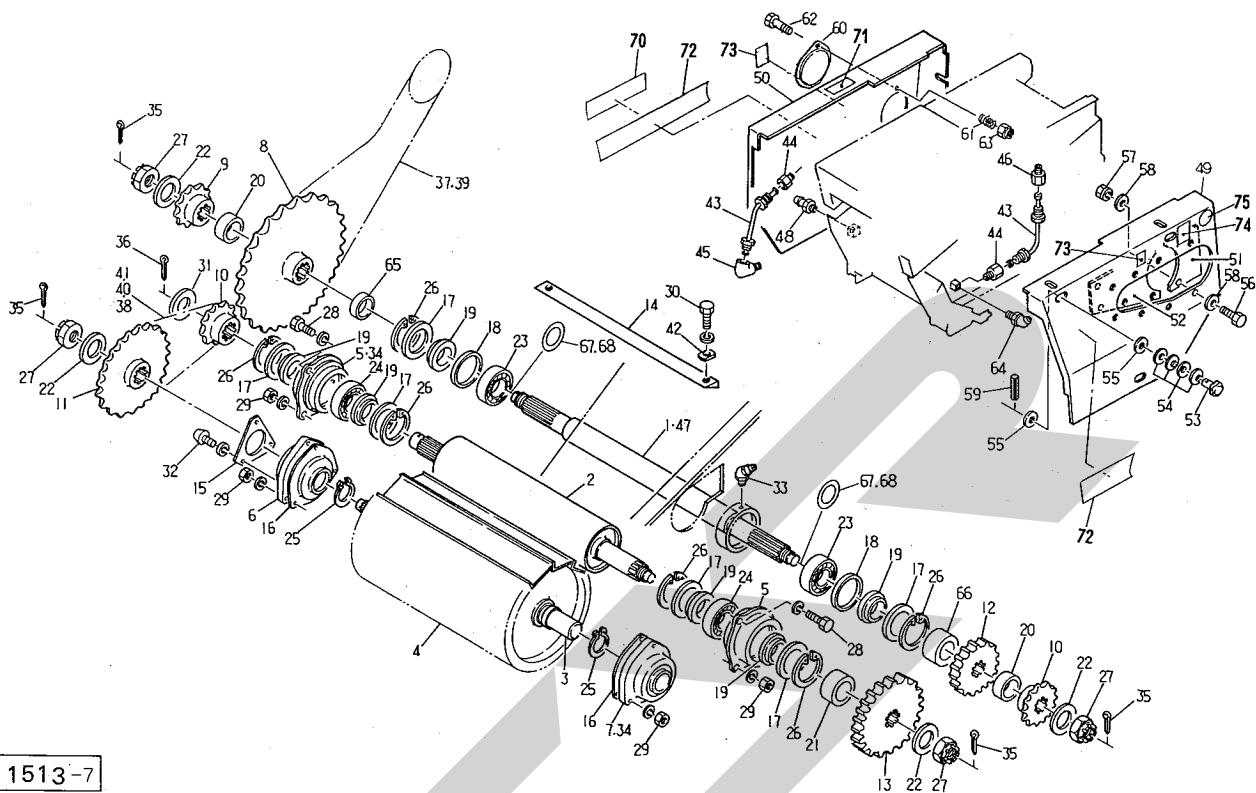
11287-2

見出番号	部品番号	部品名名称	個数	見出番号	部品番号	部品名名称	個数
1	81135	カバー	1				
2	76102	キャリヤ	1				
3	91370	キャップスクリュウ	1				
4	NZ12PWG	ナット;M12	1				
5	76100	グラインダ	1				
6	81136	ハンドル	1				
7	76107	プラケット	2				
8	81137	レール	2				
9	81138	シャッタープレート	1				
10	44091	カクネサラボルト;M10×30(8.8)	4				
11	NZ10WG	ナット;M10(8)	4				
12	BZ0816WG	ボルト;M8×16(8.8)	8				
13	BZ1025WG	ボルト;M10×25(8.8)	2				
14	44098	ワッシャ;10	2				
15	76510	チョウバン	2				
16	57460	シム					
20	61618	ケンマサギョウジノチュウイマーク	1				
21	106480	ラベル;ケイコク66	1				

MCH2830コーンハーベスター、MPH2830ピックアップハーベスター シュー

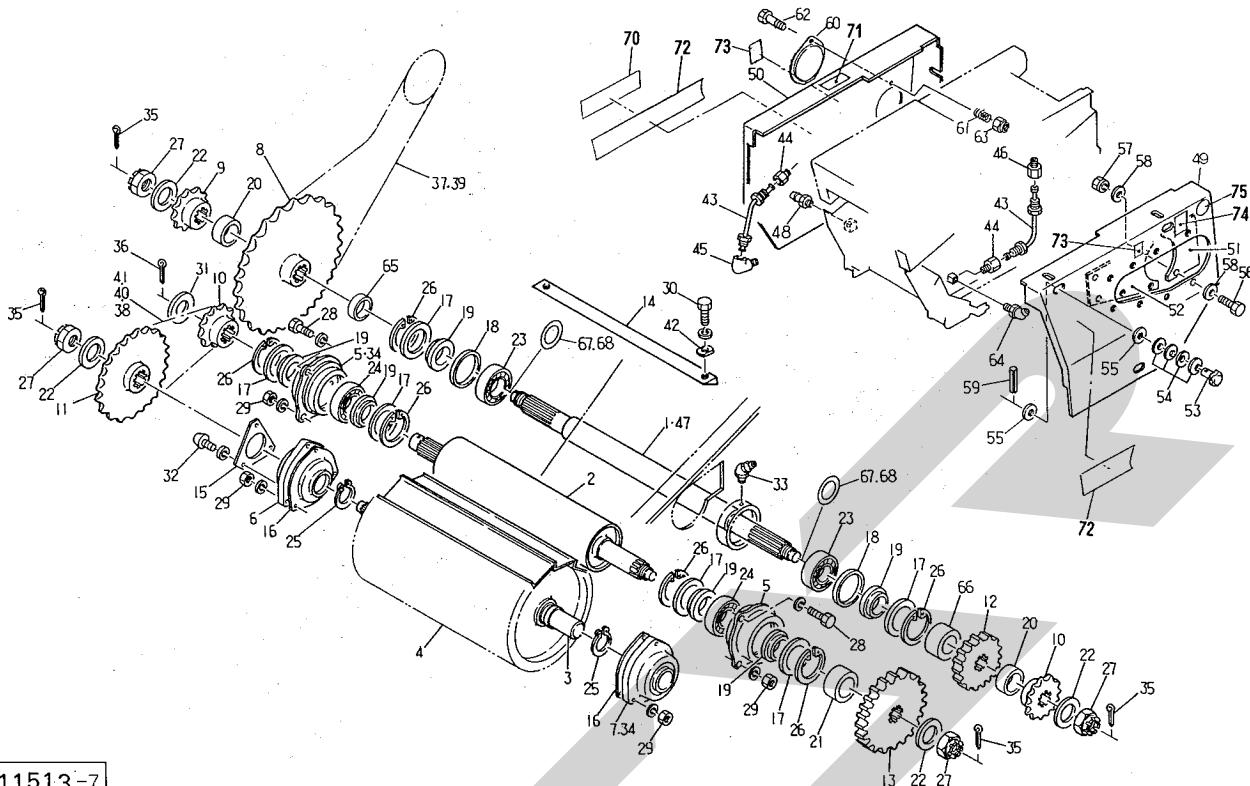


MCH2830コーンハーベスタ、MPH2830ピックアップハーベスター
ボトムロール、カウンタ



見出番号	部品番号	部品名称	個数	見出番号	部品番号	部品名称	個数
1	89693	シャフト；カウンタ	1	26	DHC 62	スナップリング；H 6 2	6
2	81103	プレーンロール	1	27	NC 20150	キャッスルナット(低形・2種)；M 20×1.5	4
3	81104	シャフト；フロント	1	28	BZ1025WG	ボルト；M 10×25(8.8)	2
4	81105	フロントロール	1	29	NZ10WG	ナット；M 10(8)	10
5	81106	メタル	2	30	BZ0820PWG	ボルト；M 8×20(8.8)	2
6	00730	メタル；UC 206	1	31	WRA 24G	ワッシャ；M 24	1
7	00732	メタル；UEL 206	1	32	CP0612WG	ナベコネジ；M 6×12	3
8	81107	スプロケット；38T	1	33	ONBS6G	グリースニップル；B-M 6×1F	1
9	81108	スプロケット；14T	1	34	ONCS6G	グリースニップル；C-M 6×1F	2
10	81109	スプロケット；13T	2	35	PC4040G	ワリピン；4×40	4
11	81110	スプロケット；30T	1	36	PC5036G	ワリピン；5×36	1
12	81111	ギヤ；17T	1	37	LA 6066	ローラチェーン；RS 60×66 (見39付)	1
13	81112	ギヤ；27T	1	38	LD5041	ローラチェーン；RS 50×41 (見40、41付)	1
14	81113	スクレーパ	1	39	AB60	ツギテ；60	1
15	81114	プレート	1	40	AA50	ツギテ；50	1
16	00473	メタルカバー	2	41	AD50	1ピッチオフセット；30	1
17	81115	プレート	6	42	94311	ワッシャ	2
18	81116	カラー	2	43	82354	ポリチューブ；120	2
19	81117	カラー	6	44	869932	S Fツギテ； $\frac{1}{8}$	2
20	81118	カラー	2	45	864206	LFツギテ；M 6	1
21	80433	カラー	1	46	864106	S Fツギテ；M 6	1
22	46001	ワッシャ；20	4	47	ONAS6G	グリースニップル；A-M 6×1F	1
23	J 6206LLU	ボールベアリング；6206LLU	2	48	ONAS1G	グリースニップル；A-PT $\frac{1}{8}$	1
24	JCS206LLU	ユニットベアリング；CS 206LLU	2	49	82375	カバー；L	1
25	DC35	スナップリング；S 35	2	50	86233	カバー；R	1

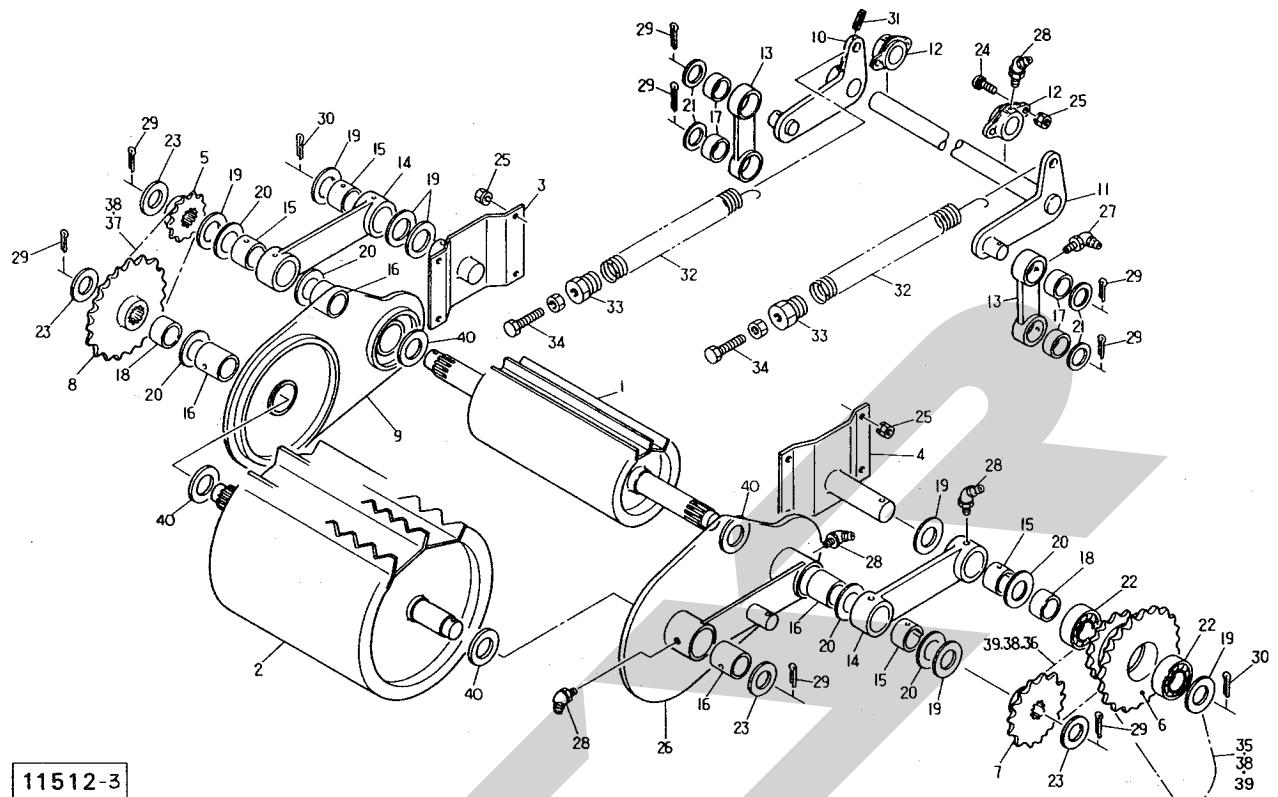
MCH2830コーンハーベスター、MPH2830ピックアップハーベスター
ボトムロール、カウンタ



11513-7

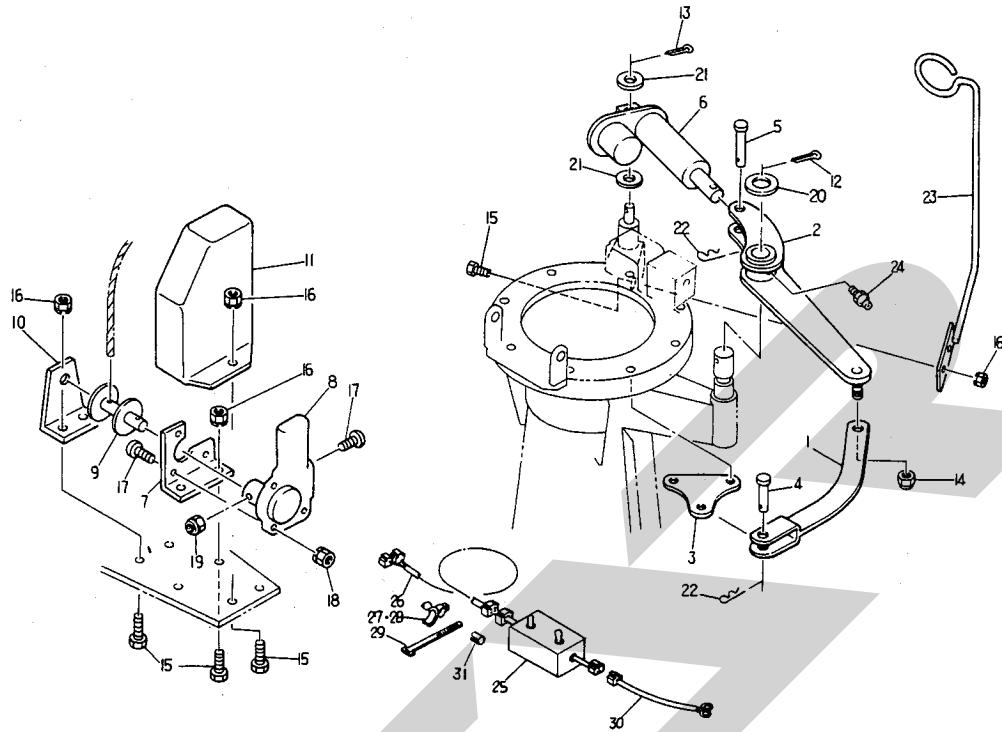
見番号	部品番号	部品名称	個数	見番号	部品番号	部品名称	個数
51	82376	プレート	1				
52	81303	カバー	1				
53	79658	ニギリ；50	6				
54	79659	サラバネ	24				
55	WRA08G	ワッシャ；M8	12				
56	BZ0820G	ボルト；M8×20(8.8)	10				
57	NP08G	スプリングナット；M8	10				
58	44097	ワッシャ；8	14				
59	PS4016	スプリングピン；4×16	6				
60	43291	クランクカバーフランジ	1				
61	43299	カバーロックバネ	1				
62	BZ1040G	ボルト；M10×40	1				
63	NN10G	ナイロンナット；M10	1				
64	ONBS1	グリースニップル；B-PT 1/8	1				
65	76735	カラー	1				
66	66650	カラー	1				
67	70420	シム	—				
68	70421	シム	—				
70	00836	STARマークラベル(シロ)；40	1				
71	61549	フィードロールチュウイマーク	1				
72	79264	ラベル；ストライプ	2				
73	81882	チュウイマーク	1				
74	106171	ラベル；ケイコク8	1				
75	00932	ハンシャキ；R-60C I	2				

MCH2830コーンハーベスタ、MPH2830ピックアップハーベスター トップロール



品番	部品番号	部品名称	個数	品番	部品番号	部品名称	個数
1	83162	リヤロール	1	26	83168	ロールアーム；L	1
2	83163	フィードロール	1	27	ONCS 6G	グリースニップル；C-M6×1F	4
3	81119	プラケット；R	1	28	ONBS 6G	グリースニップル；B-M6×1F	10
4	84095	プラケット；L	1	29	PC 5036G	ワリピン；5×36	8
5	81109	スプロケット；13T	1	30	PC 5056G	ワリピン；5×56	2
6	81122	スプロケット；18T×28T	1	31	PS 6040	スプリングピン；6×40	1
7	81123	スプロケット；20T	1	32	79040	スプリング	2
8	81124	スプロケット；28T	1	33	55480	スプリングホルダ	2
9	83164	ロールアーム；R	1	34	BZA1060NG	ボルト；M10×60 全ネジ(8.8)	2
10	81126	シフトアーム；R	1	35	LA 5057	ローラチェーン；50×57	見38付
11	81128	シフトアーム；L	1	36	LD 5041	ローラチェーン；50×41	見38,39付
12	81129	メタル	2	37	LA 5046	ローラチェーン；50×46	見38付
13	81130	リフトアーム	2	38	AA 50	ツギテ；50	3
14	81131	アーム	2	39	AD 50	1ピッチオフセット；50	2
15	81132	ブッシュ	4	40	96104	ワッシャ	4
16	59309	ブッシュ	4				
17	70289	ブッシュ	4				
18	81118	カラー	2				
19	74063	ワッシャ	7				
20	59312	カラー	6				
21	58125	ワッシャ	4				
22	J6006LLU	ポールペアリング；6006LLU	2				
23	WRA24G	ワッシャ；M24	4				
24	59483	カクネボルト；M8×25(8.8)	4				
25	NP08G	スプリングナット；M8	12				

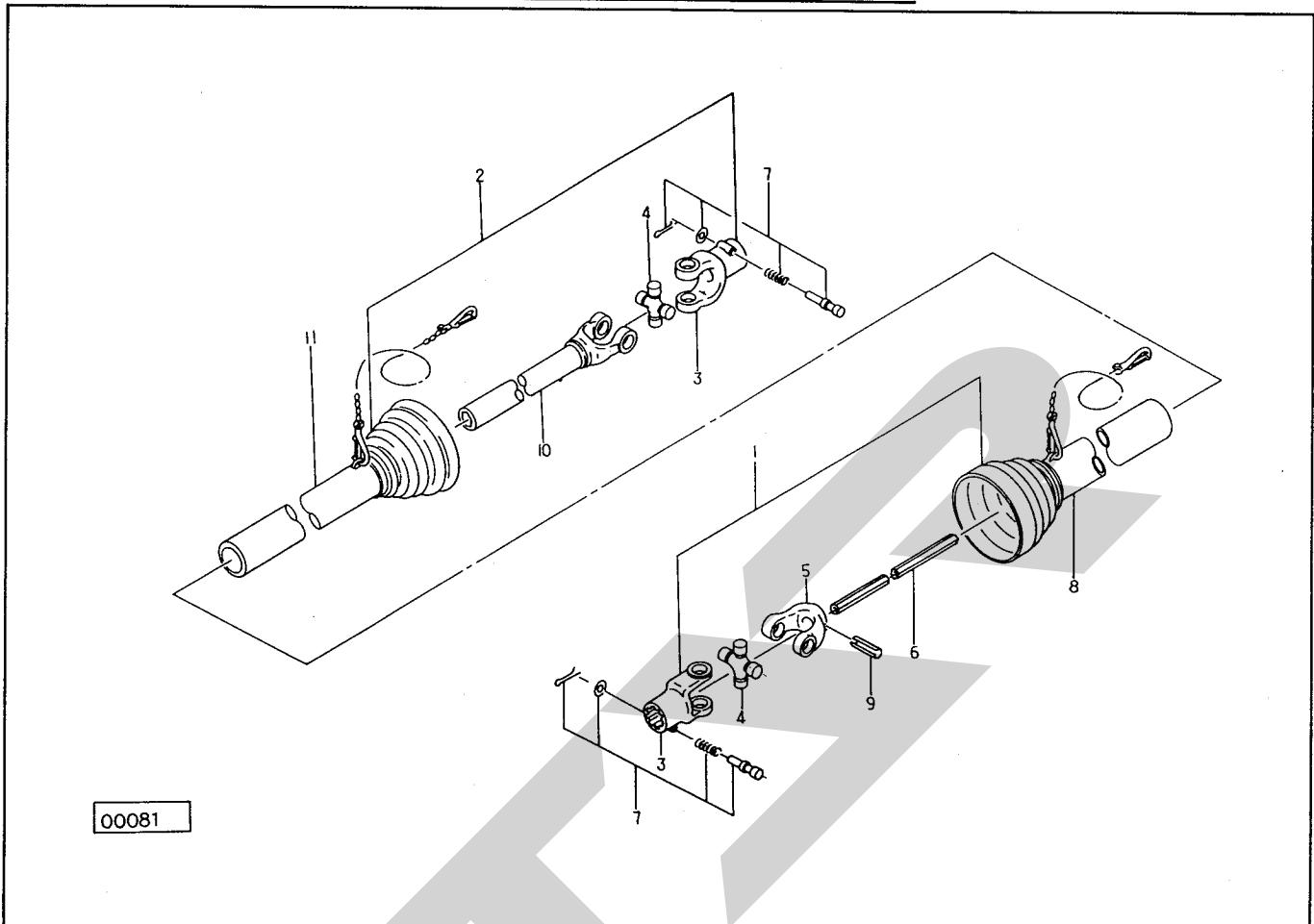
MCH2830コーンハーベスター、MPH2830ピックアップハーベスター シートコントロール



11518-3

見出番号	部品番号	部品名称	個数	見出番号	部品番号	部品名称	個数
1	82348	ステー	1	26	82144	コード	1
2	82349	ブラケット	1	27	EZAIS	パイラック；IS型	1
3	74668	プレート	2	28	EZB15C	パイラッククリップ；15-C	1
4	00062	アタマツキピン；12×35	1	29	ILT50R	インシュロック；T50R	3
5	00066	アタマツキピン；12×55	1	30	82143	コード	1
6	82353	デンドウシリンド	1	31	71685	パイプ	1
7	70347	ブラケット	1				
8	70351	パワーウィンドモータ	1				
9	72942	ブーリー	1				
10	72944	アングル	1				
11	70343	カバー	1				
12	PC5036G	ワリピン；5×36	1				
13	PC3216G	ワリピン；3.2×16	1				
14	NN10G	ナイロンナット；M10	1				
15	BZ0820G	ボルト；M8×20(8.8)	8				
16	NP08G	スプリングナット；M8	8				
17	CP0625G	ナベコネジ；M6×25	4				
18	NP06G	スプリングナット；M6	3				
19	NN06G	ナイロンナット；M6	1				
20	WRA24G	ワッシャ；M24	1				
21	42783	ワッシャ；12	2				
22	00085	ベータピン；8×1.6	2				
23	82522	コードウケ	1				
24	ONAS6G	グリースニップル；A-M6×1F	1				
25	82142	スイッチボックス	1				

LA-100 パワージョイント



本 社	066-8555	千歳市上長都 1061番地2 TEL 0123-26-1123 FAX 0123-26-2412
千歳営業所	066-8555	千歳市上長都 1061番地2 TEL 0123-22-5131 FAX 0123-26-2035
旭川営業所	070-8004	旭川市神楽4条9丁目3番35号 TEL 0166-61-6131 FAX 0166-62-8985
豊富営業所	098-4100	天塩郡豊富町字上サロベツ 1191番地 TEL 0162-82-1932 FAX 0162-82-1696
帯広営業所	080-2462	帯広市西22条北1丁目12番地 TEL 0155-37-3080 FAX 0155-37-5187
北見営業所	090-0001	北見市小泉 302 TEL 0157-24-3880 FAX 0157-61-1344
中標津営業所	086-1152	標津郡中標津町北町2丁目16番2 TEL 01537-2-2624 FAX 01537-3-2540
花巻営業所	025-0312	岩手県花巻市二枚橋第三地割 333-1 TEL 0198-26-5741 FAX 0198-26-5746
仙台営業所	985-0845	宮城県多賀城市町前2丁目4番27号 TEL 022-367-4573 FAX 022-367-4846
小山営業所	323-0158	栃木県小山市梁 2512-1 TEL 0285-49-1500 FAX 0285-49-1560
名古屋営業所	480-0102	愛知県丹羽郡扶桑町大字高雄字南屋敷191 TEL 0587-93-6888 FAX 0587-93-5416
松本出張所	399-0033	長野県松本市大字笛賀 5824-5 TEL 0263-26-5731 FAX 0263-26-5761
岡山営業所	700-0973	岡山県岡山市下中野 704-103 TEL 086-243-1147 FAX 086-243-1269
熊本営業所	862-0939	熊本県熊本市長嶺南1丁目2番1号 TEL 096-381-7222 FAX 096-384-3525
都城営業所	885-0004	宮崎県都城市都北町 3537-1 TEL 0986-38-1045 FAX 0986-38-4644